

# Web GUI

概要・基本設定	6
設定環境	6
設定の準備	6
画面構成	8
トップエリア	8
メニューエリア	8
メインエリア	11
コピーライトエリア	11
メインエリアの操作方法	11
現在の設定の保存	12
設定の終了	13
HTTP サーバー機能の無効化	13
コマンドラインインターフェースとの機能の違い	14
システム設定	15
システム	15
システム設定	15
IP 設定	15
パスワード	16
時間	17
システム時間	17
NTP	18
SNMP	18
SNMP 基本設定	19
SNMP コミュニティーの作成	20
SNMP コミュニティーの設定変更	21
SNMP コミュニティーの削除	21
ログ	21
ログ設定	22
アクセスフィルター	23
サービス設定	23
エントリーの追加	23
エントリーの設定変更	24
エントリーの削除	25
トリガー	25

基本設定 . . . . .	25
トリガー設定 . . . . .	25
ポート LED . . . . .	29
ステータス . . . . .	30
基本設定 . . . . .	30
ポート設定 . . . . .	30
PoE . . . . .	31
PoE 設定 . . . . .	32
ポート設定 . . . . .	33
その他 . . . . .	33
ユーザーインターフェース . . . . .	34
FTP サーバー . . . . .	35
TFTP . . . . .	35
温度アラーム . . . . .	35
FAN アラーム . . . . .	36
スイッチ設定 . . . . .	37
ポート . . . . .	37
省電力モード . . . . .	37
ポート一覧 . . . . .	37
ポート設定 . . . . .	38
ポートステータス表示 . . . . .	39
プロテクション . . . . .	40
パケットストームプロテクション設定 . . . . .	41
ポート設定 . . . . .	41
パケットストームプロテクション設定 . . . . .	41
ミラーリング . . . . .	42
トランキング . . . . .	43
トランクグループの作成 . . . . .	44
トランクグループの設定変更 . . . . .	45
トランクグループの削除 . . . . .	45
バーチャル LAN . . . . .	45
バーチャル LAN 設定 . . . . .	46
VLAN の作成 . . . . .	46
クラシファイア . . . . .	48
クラシファイア一覧 . . . . .	49
クラシファイア 追加/変更 . . . . .	49
QoS . . . . .	52
QoS 基本設定 . . . . .	52
DSCP 設定 . . . . .	53
ポートプライオリティ . . . . .	54
ポリシーベース QoS . . . . .	55
QoS ポリシー一覧 . . . . .	56

トラフィッククラス一覧	58
フローグループ一覧	59
RSTP	61
ステータス	61
基本設定	62
ポート設定	62
MSTP	64
ステータス	65
基本設定	65
CIST/MST インスタンス一覧	66
IGMP Snooping	73
設定	73
IP マルチキャストアドレス一覧	74
MLD Snooping	75
設定	75
マルチキャストグループ一覧	76
DHCP Snooping	76
基本設定	77
バインディングデータベースエントリ一覧	79
MAC アドレスフィルタリング設定一覧	79
LDF 検出	80
ポート設定	81
受信レート検出	82
ポート設定	83
EPSR	84
EPSR ドメイン-追加	85
EPSR ドメイン-変更	87
UDLD	88
基本設定	88
ポート設定	89
その他	89
フォワーディングデータベース	90
BPDU パケット透過	90
EAP パケット透過	90
セキュリティ設定	92
ポートセキュリティ	92
ポート一覧	92
ポートセキュリティ設定	92
RADIUS サーバー	93
RADIUS アカウント設定	94
RADIUS クライアント設定	95
RADIUS サーバー設定	95

認証用 WEB サーバー	96
認証用 WEB サーバー設定	96
メッセージ設定	97
ポート認証	97
ポートアクセス設定	98
RADIUS サーバー送信用 MAC アドレスフォーマット設定	98
ポート一覧	99
ポート設定	99
Supplicant MAC 透過設定	103
機器監視	105
システム情報	105
ポートの状態表示	105
ポートステータス表示	106
システム情報の自動更新	107
システム情報/ハードウェア情報/平均 CPU 使用率	108
詳細情報	108
ログ	109
ログカウンター	110
ログ表示条件	110
統計カウンター	111
スイッチカウンター	111
ポート一覧	112
ポートカウンター表示	112
FDB	113
FDB 表示条件	114
スタティックエントリ登録	115
スタティックエントリ削除	116
全ダイナミックエントリ削除	116
ポリシーベース QoS	116
QoS ポリシー カウンター表示	117
MSTP	118
IGMP Snooping	120
MLD Snooping	121
DHCP Snooping	122
バインディングデータベース ダイナミックエントリ削除	123
バインディングデータベース表示	123
統計情報	124
LDF 検出	124
受信レート検出	124
EPSR	125
EPSR カウンター表示	126
UDLD	127

UDLD 対向機器表示 . . . . .	127
ポート一覧 . . . . .	128
UDLD-ポート詳細情報表示 . . . . .	128
マネージメント . . . . .	130
ポートリセット . . . . .	130
リセットポート選択 . . . . .	130
コンフィグファイル . . . . .	130
設定ファイル . . . . .	131
設定保存 . . . . .	131
設定表示 . . . . .	131
ファイル管理 . . . . .	132
ファイル一覧 . . . . .	134
設定ファイルの転送 . . . . .	134
ファームウェア情報の変更 . . . . .	134
ファームウェアの転送 . . . . .	134
Internet Explorer 7 以上を使用する場合の注意 . . . . .	134
Internet Explorer 8 を使用する場合の注意 . . . . .	135
再起動 . . . . .	135

## 概要・基本設定

本製品は、Web ブラウザーを利用したグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) をサポートしています。Web ブラウザーから本製品にアクセスして、設定の変更や参照を行うことも可能です。Web GUI の使用について説明します。

## 設定環境

本製品で Web GUI を使用する場合は、下記の環境でご使用ください。

- 対応 OS は、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 です。Web ブラウザーは、Microsoft Internet Explorer 6 (Windows 版) 以上を使用してください。
- 1024 × 768 以上の解像度のモニターを使用して頂くことをおすすめします。
- ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。
- ◇ 1024 × 768 以上の解像度のモニターでない場合、一部のフレームが表示されないことがあります。
- ◇ 「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップ ブロック」の設定において、本製品の IP アドレスを許可する設定としてください。
- ◇ Internet Explorer 7 以上を使用し、コンフィグファイルやファームウェアを転送する場合は、事前に設定が必要となります。詳細は「Web GUI」/「マネージメント」をご覧ください。

## 設定の準備

本製品の Web GUI 機能を使用するためには、まず、下記の設定を行います。

- 本製品の IP アドレスを設定する
- 本製品の HTTP サーバー機能を有効にする
- ◇ Web GUI を使用するには、あらかじめコンソールターミナルからログインし、本製品に IP アドレス等を設定しておく必要があります。IP の設定については、「IP」/「概要・基本設定」をご覧ください。HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

本製品にアクセスする手順は、下記のとおりです。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. 「アドレス」に、スイッチの IP アドレスを入力し、「Enter」キーを押します。
3. パスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。  
「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。ここでは、デフォルト設定の「manager」と「friend」を入力するものとします。入力したら、「OK」をクリックします。

GS900M V2(-4PS) series のサーバー 192.168.1.105 にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

パスワードを記憶する(R)

OK      キャンセル

4. ログインに成功すると、下記の画面が表示されます。

The screenshot shows the '機器監視 - システム情報' (Device Monitoring - System Information) page. The left sidebar contains navigation menus for System Settings, Switch Settings, Security Settings, and Device Monitoring. The main content area displays system details, hardware status, and average CPU usage.

**システム情報**

SysDescription	CentreCOM GS908M V2-4PS Ver 2.3.2 B04
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	1977300(05:29:33)
Release Version	2.3.2
Release built	B04 (Apr 21 2011 at 16:42:22)

**ハードウェア情報**

DRAM	65536 KB
Flash	16384 KB
MACアドレス	00-00-F4-27-2D-E5

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	PoE
Good	Good	Good	Good	Good

温度	FAN1	FAN2
Normal	Start	Start

**電圧**

1.2V	2.5V	3.3V(A)	3.3V(B)	12V	54V
Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal

**平均CPU使用率**

Last second	Last minute	Last 5 minutes	Last 15 minutes
56%	5%	4%	4%

- デフォルトのパスワードを使い続けることはセキュリティ上好ましくありませんので、初回ログイン時に変更することをおすすめします。詳細は「運用・管理」/「システム」をご覧ください。

- 本製品は、同時に複数のユーザーが、Web インターフェースからログインすることが可能です。一方のユーザーが設定を変更した後に、別のユーザーが同じ設定を変更した場合、設定は上書きされますのでご注意ください。

## 画面構成

設定画面は、下記の4つのエリアで構成され、それぞれフレームで分割されています。

## トップエリア

トップエリア（画面上部のフレーム）には、製品名、現在選択されているメニューの項目、ファームウェアバージョン、本製品の MAC アドレスが表示されます。

現在選択されている項目は、「大項目 - 小項目」の形式で表示されます。

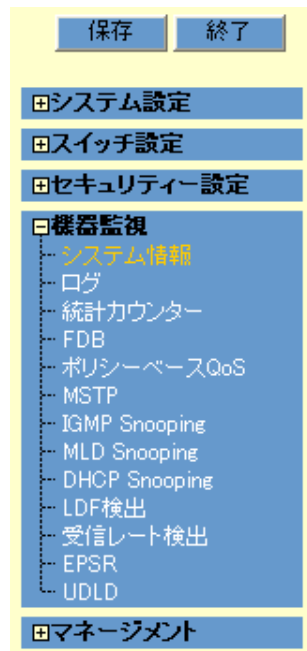
大項目として表示されるのは、メニュー項目をグループ単位で分割するグループ名です。小項目として表示されるのは、メニュー項目の最小単位の機能名です。どちらも、後述のメニューエリアにも表示されます。

## メニューエリア

メニューエリア（画面左のフレーム）には、メニューがツリー状に表示されます。

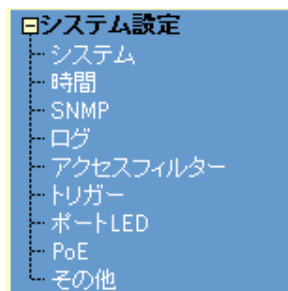


メニューの大項目（グループ名）をクリックすると、小項目が表示されます。  
 小項目（機能名）をクリックすると、選択された項目は黄色で表示され、後述のメインエリアに、その機能に関する設定項目や現在の設定状態が表示されます。



メニューの大項目は、下記のとおりです。

システム設定（詳細は、「システム設定」をご覧ください）



※ PoE は対応機種（GS908M V2-4PS）のみ表示されます。

スイッチ設定（詳細は、「スイッチ設定」をご覧ください）

**■スイッチ設定**

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキング
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定（詳細は、「セキュリティ設定」をご覧ください）

**■セキュリティ設定**

- ポートセキュリティ
- RADIUSサーバー
- 認証用WEBサーバー
- ポート認証

機器監視（詳細は、「機器監視」をご覧ください）

**■機器監視**

- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- ポリシーベースQoS
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD

マネージメント（詳細は、「マネージメント」をご覧ください）

**■マネージメント**

- ポートリセット
- コンフィグファイル
- ファイル管理
- 再起動

メニューの上には、「保存」、「終了」の2つのボタンがあります。

2つのボタンの機能は次のとおりです。

- 「保存」: 現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します
- 「終了」: 表示しているウィンドウを閉じ、操作を終了します

## メインエリア

メインエリア（画面右のフレーム）には、メニューエリアで選択した小項目（機能名）に関する、設定項目や現在の設定状態が表示されます。

メインエリアでの基本的な操作方法については、後述の「メインエリアの操作方法」を参照してください。

The screenshot displays a configuration interface with two main sections: 'システム設定' (System Settings) and 'IP設定' (IP Settings). Below these is a 'パスワード' (Password) section.

**システム設定**

- システム名 (SysName):
- 設置場所 (SysLocation):
- 責任者 (SysContact):
- Buttons: 設定, リセット

**IP設定** (\*本設定を行うと、本体との通信ができなくなる可能性があります)

- IPアドレス(IP):  .  .  .  (Static)
- サブネットマスク(SubnetMask):  .  .  .
- ゲートウェイアドレス(Gateway):  .  .  .
- インターフェース(VLAN):
- ディレクテッドブロードキャスト応答(DirectedBroadcast):
- Buttons: 設定, リセット

**パスワード**

- 
- Button: 変更

## コピーライトエリア

コピーライトエリア（画面下部のフレーム）には、弊社のロゴとコピーライトが表示されます。

 Allied Telesis  
Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## メインエリアの操作方法

メインエリアでよく使用するボタンなどの操作方法は、次のとおりです。

「設定」ボタン

「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更が本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

設定内容をスクリプトファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

次の設定の変更は、再起動後に有効になります。次の設定を変更した場合は、本製品を再起動してください。

- QoSの有効/無効

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

- 「リセット」ボタン

「リセット」ボタンをクリックすると、設定の変更や入力した値が、変更前の状態に戻ります。

- 設定の変更や値の入力後に「設定」ボタンを押した場合は、変更前の状態には戻りません。

- 「追加」ボタン

グループやエントリーを追加します。設定のダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な設定を行います。

- ここで表示される設定項目には、デフォルトの設定値が表示されます。

- 「変更」ボタン

グループやエントリーの設定を変更します。設定のためのダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な変更を行います。

- ここで表示される設定項目には、現在の設定値が表示されます。

- 「削除」ボタン

グループやエントリーを削除します。

その他の操作方法については、各メニューの説明を参照してください。

## 現在の設定の保存

設定の変更を行い、メニューエリアの「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更は、ただちに、本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

次の起動時以降も現在と同じ設定を使いたい場合は、設定内容を設定ファイルとして保存し、起動時にそのファイルを使用するように指定しなければなりません。

設定内容を設定ファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

「保存」ボタンをクリックすると、「コンフィグレーション保存」が表示されます。

次の3つの保存方法の中から1つを選択し「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

- 「起動時設定ファイルに保存する」: 「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定を保存
- 「既存ファイルに保存する」: 選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」: ファイルを新規に作成し、設定を保存

## 設定の終了

Web GUIによる設定を終了する場合は、メニューエリアの「終了」ボタンをクリックします。

「終了」ボタンをクリックすると、終了確認のダイアログボックスが表示されます。



「はい」ボタンをクリックすると、ウィンドウが閉じられます。

「いいえ」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。

## HTTP サーバー機能の無効化

Web GUI を使用しない場合は、セキュリティを高めるために、HTTP サーバー機能を無効にしてください。HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

## コマンドラインインターフェースとの機能の違い

コマンドラインインターフェースで可能なことは、Web GUI でも基本的には可能ですが、次の項目については、Web GUI では実行することができません。

- PING
- DHCP クライアント機能の有効/無効
- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット
- ログ設定の削除
- コンソール（ログインセッション）の 1 画面当たりの表示行数の設定
- スパニングツリープロトコルの設定消去
- QoS の設定の消去
- フラッシュメモリの初期化
- ファイルのコピー
- スクリプトの実行
- コマンド入力の補完機能の設定
- 表示コマンドの一部の項目が表示されない
- 受信レート検出のフレーム種別設定

## システム設定

### システム

システム情報や IP アドレス情報に関する設定、および、ログインパスワードの設定を行います。

システムの詳細については、「運用・管理」/「システム」をご覧ください。

「運用・管理」/「システム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4PS

システム設定 - システム

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- トリガー
- ポートLED
- PoE
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

システム設定

システム名 (SysName)

設置場所 (SysLocation)

責任者 (SysContact)

設定 リセット

IP設定 (※本設定を行わず、本機との通信ができなくなる可能性があります)

IPアドレス(IP)

192 . 168 . 1 . 105 (Static)

サブネットマスク(SubnetMask)

255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイアドレス(Gateway)

0 . 0 . 0 . 0

インターフェース(VLAN)

default

ディレクティブブロードキャスト応答(DirectedBroadcast)

No

設定 リセット

パスワード

\*\*\*\*\*

変更

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### システム設定

システム名などの設定を行います。

システム名 (SysName)

システム名を入力します。

設置場所 (SysLocation)

設置場所を入力します。

責任者 (SysContact)

連絡先を入力します。

### IP 設定

IP アドレス情報に関する設定を行います。

IP 設定の詳細については、「IP」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「IP」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- PING
- DHCP クライアント機能の有効/無効

※ IP アドレスに関する設定を変更すると、本製品との通信ができなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

#### IP アドレス (IP)

システムに割り当てる IP アドレスを設定します。

##### サブネットマスク (SubnetMask)

サブネットマスクを設定します。省略時は IP アドレスのクラス標準マスクが用いられます。

##### ゲートウェイアドレス (Gateway)

ゲートウェイアドレスを設定します。ルーターを介して通信を行う場合に設定します。

##### インターフェース (VLAN)

IP アドレスを割り当てるインターフェース (VLAN) を設定します。

##### ディレクティッドブロードキャスト応答 (DirectedBroadcast)

ディレクティッドブロードキャスト PING へ応答するかどうかを設定します。

## パスワード

ログインパスワードを設定します。

「変更」ボタンをクリックすると、パスワード変更のダイアログボックスが表示されます。

The image shows a screenshot of a 'パスワード変更' (Change Password) dialog box. The dialog has a yellow title bar with the text 'パスワード変更'. Below the title bar, there are three input fields: '現パスワード', '新パスワード', and '新パスワード(再入力)'. At the bottom of the dialog, there are three buttons: '設定', 'キャンセル', and 'リセット'.



### 現パスワード

現在のパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

### 新パスワード

新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

### 新パスワード（再入力）

確認のために、もう一度新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

## 時間

本製品では、システム時間の手動設定、および、SNTP（Simple Network Time Protocol）を利用した時刻設定が可能です。

SNTPの詳細については、「運用・管理」/「SNTP」をご覧ください。

「運用・管理」/「SNTP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUIでも、次の項目以外は同じことができます。

- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット

## システム時間

内蔵時計の日付と時刻を設定します。

年/月/日

日付を入力します。

時:分:秒

時刻を入力します。

## NTP

SNTP に関する設定を行います。

### NTP 有効

SNTP モジュールを有効にする場合に、チェックを付けます。

SNTP モジュールを無効にする場合に、チェックを外します。

### タイムゾーン (UTC offset)

協定世界時からのオフセットを指定します。定義済みのタイムゾーン名をリストから選択します。

### UTC offset

現在設定されている、協定世界時 (UTC) からのオフセットが表示されます。

### NTP サーバー (NTP Peer)

時刻同期をとる SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。SNTP サーバーは 1 つしか設定できません。

### NTP ポート番号

SNTP サーバーの UDP ポートを設定します。

## SNMP

ネットワーク管理プロトコル SNMP ( Simple Network Management Protocol ) を利用するための設定を行います。

SNMP の詳細については、「運用・管理」 / 「SNMP」をご覧ください。

「運用・管理」 / 「SNMP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



## SNMP 基本設定

### SNMP 有効

SNMP モジュールを有効にする場合にチェックを付けます。  
SNMP モジュールを無効にする場合にチェックを外します。

### SNMP ポート番号

SNMP ( get/set ) のリスニングポートを変更します。

### トラップポート番号

SNMP トラップのリスニングポートを変更します。

### 生成トラップ

トラップの生成を有効にするトラップにチェックを付けます。

トラップの生成を無効にするトラップのチェックを外します。

「すべて選択」ボタンをクリックすると、すべてのトラップにチェックが付きます。

「すべて解除」ボタンをクリックすると、すべてのトラップのチェックが外れます。

※ PoE トラップは対応機種（GS908M V2-4PS）のみ表示されます。

#### リンクアップ/リンクダウントラップ生成（Interface）

リンクアップ/リンクダウントラップを生成するインターフェースにチェックを付けます。

リンクアップ/リンクダウントラップを生成しないインターフェースのチェックを外します。

「すべて選択」ボタンをクリックすると、すべてのポートにチェックが付きます。

「すべて解除」ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックが外れます。

#### SNMP コミュニティー

作成されているコミュニティーの一覧が表示されます。

### SNMP コミュニティーの作成

SNMP コミュニティーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。

「追加」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティー - 追加」が表示されます。

**SNMPコミュニティー - 追加**

**コミュニティー名 (Community)**

**本コミュニティーを有効にする**

**管理ステーション (Manager)**

1	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
2	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
3	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
4	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

**アクセス権 (Access)**

read-only

 **アクセス許可 (Open)**

**本コミュニティーにトラップ送**

**トラップ送信先ホスト (TrapHost)**

1	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
2	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
3	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
4	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

**送**

<input checked="" type="checkbox"/> ColdStart	<input checked="" type="checkbox"/> Link	<input checked="" type="checkbox"/> NewRoot	<input checked="" type="checkbox"/> SFP
<input checked="" type="checkbox"/> WarmStart	<input checked="" type="checkbox"/> Temperature	<input checked="" type="checkbox"/> LoopDetection	<input checked="" type="checkbox"/> Fan
<input checked="" type="checkbox"/> Authentication	<input checked="" type="checkbox"/> Voltage	<input checked="" type="checkbox"/> StormDetection	<input checked="" type="checkbox"/> PoE
<input checked="" type="checkbox"/> Login/Logout	<input checked="" type="checkbox"/> TopologyChange	<input checked="" type="checkbox"/> EPSR	
<input checked="" type="checkbox"/> MSTP	<input checked="" type="checkbox"/> Trigger	<input checked="" type="checkbox"/> Intrusion	
<input checked="" type="checkbox"/> NewAddress	<input checked="" type="checkbox"/> UDLD		

次の項目を設定します。

「コミュニティ名 (Community)」  
コミュニティ名を入力します。

「本コミュニティを有効にする」  
作成したコミュニティを有効にする場合にチェックを付けます。  
無効にする場合はチェックを外します。

「管理ステーション (Manager)」  
SNMP オペレーションを許可する管理ステーションを指定します。

「アクセス権 (Access)」  
コミュニティのアクセス権をリストから選択します。

「アクセス許可 (Open)」  
「管理ステーション (Manager)」で指定したホストだけでなく、すべての SNMP リクエストを受け入れる場合にチェックを付けます。

「本コミュニティにトラップ送出」  
作成した SNMP コミュニティにおけるトラップの生成を有効にする場合にチェックを付ける。無効の場合は、チェックを外します。

「トラップ送信先ホスト (TrapHost)」  
SNMP トラップの送信先ホストを指定します。

「送出トラップ」  
送出するトラップにチェックを付けます。送出しないトラップのチェックを外します。

※ PoE トラップは対応機種 (GS908M V2-4PS) のみ表示されます。

## SNMP コミュニティの設定変更

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティ - 変更」が表示されます。ここでコミュニティの設定の変更や、管理ステーション、トラップホストの追加/削除を行います。

## SNMP コミュニティの削除

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されません。

## ログ

ログ機能の設定を行います。

ログ機能の詳細については、「運用・管理」/「ログ」をご覧ください。

「運用・管理」/「ログ」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- ログ設定の削除

## ログ設定

### ログ有効

ログ機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ログ機能を無効にする場合に、チェックを外します。

### ログ出力先 (Output)

ログ出力先を指定します。

メモリーに出力する場合は、「メモリー (PERMANENT)」にチェックを付けます。

syslog サーバーに出力する場合は、「syslog サーバー (SYSLOG)」にチェックを付けます。

- ※ ログ機能を有効にし、出力先を「メモリー (PERMANENT)」に設定している場合は、機器監視のログメニューで、ログを表示させることができます。

### 出力ログレベル (Severity)

出力先がメモリー (PERMANENT) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算子をリストから選択します。

### syslog サーバーアドレス

syslog のメッセージの転送先 IP アドレスを指定します。

### syslog ポート番号

syslog サーバーへの UDP ポートを指定します。

### syslog レベル (Severity)

出力先が syslog サーバー (SYSLOG) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算子をリストから選択します。

ファシリティ (Facility)

syslog サーバーへ送信するログファシリティ値をリストから選択します。

## アクセスフィルター

本製品宛での通信に適用するセキュリティー機能に関する設定を行います。

アクセスフィルターの詳細については、「運用・管理」/「アクセスフィルター」をご覧ください。

「運用・管理」/「アクセスフィルター」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

The screenshot shows the 'System Settings - Access Filter' page. At the top, it displays 'CentreCOM GS900M V2-4FS' and 'Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5'. The main content is divided into two sections: 'サービス設定' (Service Settings) and 'エントリー設定' (Entry Settings).

**サービス設定 (Service Settings):** This section contains a list of services with checkboxes for enabling them and dropdown menus for selecting the action. The services listed are:

- SNMP:  有効, 許可(PASS)
- FTP:  有効, 許可(PASS)
- TELNET:  有効, 許可(PASS)
- HTTP:  有効, 許可(PASS)
- ICMP:  有効, 許可(PASS)
- GLOBAL:  有効, 許可(PASS)

Buttons for '設定' (Settings) and 'リセット' (Reset) are located below this section.

**エントリー設定 (Entry Settings):** This section has radio buttons to select the service type: SNMP (selected), FTP, TELNET, HTTP, ICMP, and GLOBAL. Below this is a table with the following columns: 'エントリー' (Entry), 'IPアドレス' (IP Address), 'マスク' (Mask), 'アクション' (Action), and 'ポート' (Port). The table is currently empty. Buttons for '追加' (Add), '変更' (Change), and '削除' (Delete) are located below the table.

The footer of the page includes the Allied Telesis logo and the text: 'Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved'.

### サービス設定

アクセスフィルター機能を有効にしたいサービスに、チェックを付けます。

各サービスに対応するデフォルトの処理をリストから選択します。

### エントリーの追加

「エントリー設定」で、エントリーを追加するサービスを選択します。  
 アクセスフィルターのエントリーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。  
 「追加」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター - 追加」が表示されます。

次の項目を入力します。

サービス (Service)

「エントリー設定」で選択したサービス名が表示されます。

IP アドレス (IP)

フィルタリング対象の IP アドレスを指定します。

アクション ( Action )

パケットがフィルターの条件に一致したときのアクションをリストから選択します。

マスクパターン (Mask)

マスクパターンを指定します。

ポート (Ports)

アクセスフィルター機能を有効にするスイッチポート番号にチェックを付けます。

アクセスフィルター機能を無効にするスイッチポート番号のチェックを外します。

### エントリーの設定変更

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター-変更」が表示されます。ここでアクセスフィルターの設定の変更を



行います。

## エントリーの削除

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されません。

## トリガー

エコトリガーの設定を行います。

エコトリガーの詳細については、「省エネ機能」 / 「概要・基本設定」をご覧ください。

「省エネ機能」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

## 基本設定

### トリガー機能有効

エコトリガー機能を有効にする場合チェックを付けます。

エコトリガー機能を無効にする場合チェックを外します。

## トリガー設定

作成されているエコトリガーの一覧を表示しています。

### 追加

「追加」ボタンをクリックすると「トリガー設定-追加」が表示されます。ここでエコトリガーの設定の変更を行います。

トリガー設定 - 追加

**トリガー番号(TriggerID)**  
 [1-10]

**本トリガーを有効にする**

**トリガーの種類**

**パワーセーブモード(PMode)**

**起動時刻 時:分(StartTime)**    **終了時刻 時:分(EndTime)**    **受電機器(PoE Target)**  
 :     ~     :    

**トリガー有効日**

**曜日リスト(Days)**     月     火     水     木     金     土     日

**開始/終了日(Date)**

**対象ポート(Port)**

1    3    5    7    9

2    4    6    8    10

**トリガー名(Name)**

トリガー番号

トリガー番号（1～10）を設定します。

トリガー名（Name）

トリガー名を設定します。

本トリガーを有効にする

エコトリガーを有効にする場合チェックを付けます。  
エコトリガーを無効にする場合チェックを外します。

#### トリガーの種類

Power Save のみ。

#### パワーセーブモード (PSMode)

パワーセーブのモードをリストから選択します。

#### 起動時刻 時：分 (StartTime)

トリガーの起動時刻を指定します。

#### 受電機器 (PoE Target)

PoE 受電機器設定をリストから選択します。

パワーセーブのモードが PoE Off の場合のみ選択可能となります。

※ PoE Target は対応機種 (GS908M V2-4PS) のみ表示されます。

#### 終了時刻 時：分 (EndTime)

トリガーの終了時刻を指定します。

#### トリガー有効日

曜日リスト：一週間のうちトリガーが有効な曜日にチェックを入れます。

開始/終了日：トリガーが有効な期間の開始日、トリガーが終了する日を指定します。

#### 対象ポート (Port)

パワーセーブのモードが LED Off、Port Off、PoE Off (GS908M V2-4PS のみ) のいずれかの場合、対象となるポートを指定します。

PoE Off の場合、1~4 番ポートのみ選択可能です。

### 変更

作成されたトリガーの一覧から、設定を変更したいトリガー番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「トリガー設定-変更」が表示されます。ここでエコトリガーの設定の変更を行います。

トリガー設定 - 変更

<b>トリガー番号(TriggerID)</b> <input style="width: 50px;" type="text" value="1"/> [1-10]	<b>トリガー名(Name)</b> <input style="width: 90%;" type="text" value="TEST"/>																					
<input checked="" type="checkbox"/> <b>本トリガーを有効にする</b>																						
<b>トリガーの種類</b> <input style="width: 80px;" type="text" value="Power Save"/>																						
<b>パワーセーブモード(PMode)</b> <input style="width: 50px;" type="text" value="Sleep"/> <span style="color: red; font-size: small;">トリガーが起動する前にコンフィグレーションを保存してください。</span>																						
<b>起動時刻 時:分(StartTime)</b> <input style="width: 30px;" type="text" value="22"/> : <input style="width: 30px;" type="text" value="00"/>	<b>終了時刻 時:分(EndTime)</b> <input style="width: 30px;" type="text" value="05"/> : <input style="width: 30px;" type="text" value="00"/>	<b>受電機器(PoE Target)</b> <input style="width: 100px;" type="text" value="Allied Telesis-AP"/>																				
<b>トリガー有効日</b> <input checked="" type="radio"/> <b>曜日リスト(Days)</b> <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日																						
<input type="radio"/> <b>開始/終了日(Date)</b>																						
<b>対象ポート(Port)</b> <table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1</td><td style="width: 10%;">3</td><td style="width: 10%;">5</td><td style="width: 10%;">7</td><td style="width: 10%;">9</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>			1	3	5	7	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	4	6	8	10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1	3	5	7	9																		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
2	4	6	8	10																		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
<input type="button" value="すべて選択"/> <input type="button" value="すべて解除"/>																						
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="リセット"/>																						

### 詳細情報表示

作成されたトリガーの一覧から、表示したいトリガー番号にチェックを付けて「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「トリガー-詳細表示」が表示されます。

表示される項目については、SHOW TRIGGER コマンド(「省エネ機能」の 24 ページ)を参照してください。

## トリガー - 詳細表示

## トリガー - 1

<b>トリガー名 (Name)</b> TEST	<b>繰り返し設定 (Repeat)</b> Yes
<b>トリガーの種類と詳細 (Type and details)</b> PS-POE OFF (22:00-05:00)	<b>作成/最終修正日時 (Created/Modified)</b> 2011-04-26 14:32:52
<b>トリガー有効日 (Days or Date)</b> 月火水木金土日	<b>トリガー起動回数 (Number of Actions)</b> 0
<b>対象ポート (Port)</b> 1-4	<b>最終起動日時 (Last Activation)</b> ****-**-** **:*:*
<b>トリガー有効/無効 (Enabled)</b> Enabled	<b>スクリプト数 (Number of scripts)</b> 0
<b>テストモード (Test)</b> No	<b>受電機器 (PoE Target)</b> Allied Telesis-AP

OK

## ポート LED

ポート LED の設定を行います。

ポート LED の詳細については、「省エネ機能」/「概要・基本設定」のエコ LED をご覧ください。

「省エネ機能」/「概要・基本設定」のエコ LED では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4PS

システム設定 - ポートLED

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- トリガー
- ポートLED
- PoE
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ステータス

LEDモード: SPEED LED

基本設定

LEDモード (Mode)

SPEED LED

設定 リセット

ポート設定

ポート	LED動作	受信レートしきい値(Kbps)	受信レート(Kbps)	リンク	パワーセーブ	LEDステータス
<input type="checkbox"/> 1	Off	-	-	Up	No	On
<input type="checkbox"/> 2	Off	-	-	Up	No	On
<input type="checkbox"/> 3	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 4	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 5	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 6	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 7	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 8	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 9	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 10	Off	-	-	Down	No	Off

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## ステータス

### LED モード

LED モードの現在の設定を表示します。

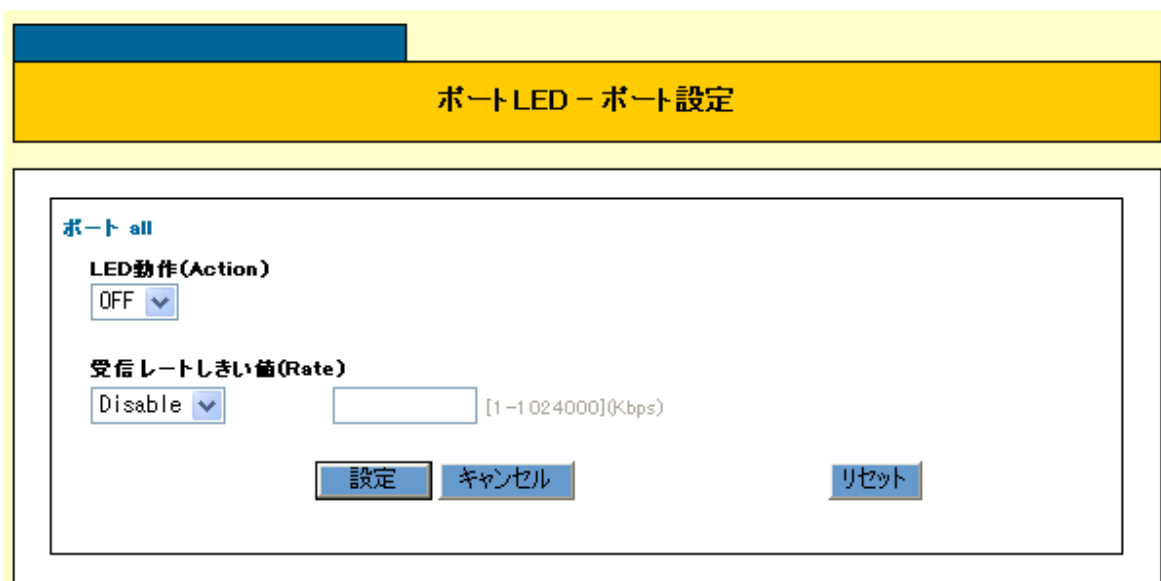
## 基本設定

### LED モード ( Mode )

LED モードをリストから選択し、「設定」ボタンをクリックします。

## ポート設定

ポートを選択し、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート LED-ポート設定」が表示されます。



ポートLED - ポート設定

ポート all

LED動作(Action)

OFF

受信レートしきい値(Rate)

Disable [1-1024000](Kbps)

設定 キャンセル リセット

#### LED 動作 ( Action )

LED モードが OFF の場合のアクションをリストから選択します。

LED の点灯/消灯を設定します。ON を指定するとポート LED が点灯 (ポート LED 消灯モード無効) になり、OFF を指定するとポート LED が消灯 (ポート LED 消灯モード有効) になります。LED モードが OFF の場合のみ有効です。

#### 受信レートしきい値 ( Rate )

リストから Enable/Disable を選択します。

Enable を選択した場合、ポート LED を消灯させる受信レートのしきい値を Kbps (Kilobits per second) で指定します。

Disable を選択するとポート LED は消灯します。

## PoE

PoE ( Power over Ethernet ) 給電機能の設定を行います。

∟ PoE 給電機能に対応しているのは GS908M V2-4PS のみです。

PoE ( Power over Ethernet ) 給電機能の詳細については、「PoE」/「概要・基本設定」をご覧ください。「PoE」の章では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4PS

システム設定 - PoE

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- トリガー
- ポートLED
- PoE
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

障害監視

マネージメント

**PoE設定**

電力管理方式  Actual  Class

ログ/トラップ出力しきい値 95 [1-99](%)

検出方式  IEEE  Legacy

Guard Band 10 [2-70](W)

PoE Limit (W) : 75  
PoE No Connect (W) : 65  
Total Allocated Power (W) : 0  
Consumed Power (W) : 0  
Available Power (W) : 75  
Consumed Power Usage (%) : 0

設定 リセット

**ポート一覧**

ポート	有効	クラス	優先度	電力使用量(mW)	状態
<input type="checkbox"/> 1	Enabled	-	Low	0 (30000)	OFF - Non-valid PD detected
<input type="checkbox"/> 2	Enabled	-	Low	0 (30000)	OFF - Non-valid PD detected
<input type="checkbox"/> 3	Enabled	-	Low	0 (30000)	OFF - Detection in process
<input type="checkbox"/> 4	Enabled	-	Low	0 (30000)	OFF - Detection in process

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## PoE 設定

### 電力管理方法

PoE 受電機器 (PD) の電力管理方法を選択します。使用する電力管理方法をクリックします。

### ログ/トラップ出力しきい値

ログとトラップの出力しきい値を設定します。

### 検出方式

PoE 受電機器 (PD) の検出方式を選択します。使用する検出方式をクリックします。

### Guard Band

PoE 電源最大供給電力のガードバンドを設定します。

### ポート一覧

各ポートの PoE 給電機能の情報が一覧で表示されます。

リストの中から設定を変更したいポートにチェックを付けて、「変更ボタン」をクリックすると、「ポート設定」が表示されます。



「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。  
 「再表示」ボタンをクリックすると、ポート一覧の情報が更新されます。

## ポート設定

「ポート設定」では、各ポートの給電機能の設定を行います。

- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定値が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目にはデフォルト値が表示されます。

### PoE 給電機能有効

ポートで、給電機能を有効にする場合は、チェックを付けます。

ポートで、給電機能を無効にする場合は、チェックを外します。

### 給電優先度

各ポートの給電の優先順位を、リストから選択します。

優先度が同一の場合は、ポート番号の小さい方が高プライオリティとなります。

### 出力電力上限値

各ポートの供給電力の上限値を設定します。

出力電力を制限したい場合に使います。

## その他

コンソール、Telnet 関連機能、および、FTP/TFTP サーバーの設定を行います。

コンソール、Telnet 関連機能の詳細については、「運用・管理」/「ターミナルサービス」をご覧ください。

「運用・管理」/「ターミナルサービス」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- コンソール（ログインセッション）の1画面当たりの表示行数の設定
- コマンド入力の補完機能の設定

CentreCOM GS908M V2-4PS

システム設定 - その他

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
 システム  
 時間  
 SNMP  
 ログ  
 アクセスフィルタ  
 トリガー  
 ポートLED  
 PoE  
 その他

スイッチ設定  
 セキュリティ設定  
 機器監視  
 マネージメント

**ユーザーインターフェース**

コンソール(非同期)ポート有効      コンソールタイムアウト      Telnetポート番号  
 Telnet接続有効      300 [0-32767] (#)      23 [1-65535]

Webインターフェース有効      Telnetセッション最大数  
 4

HTTPポート番号  
 80 [1-65535]

設定 リセット

**FTPサーバー**

FTPサーバー有効      ポート番号  
 21 [1-65535]

設定 リセット

**TFTP**

ポート番号  
 69 [1-65535]

設定 リセット

**FANアラーム**

回転/停止アラーム有効

設定 リセット

Allied Telesis  
 Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## ユーザーインターフェース

コンソール、Telnet 関連機能について、設定を行います。

### コンソール(非同期)ポート有効

コンソールポートからのログインを有効にする場合に、チェックを付けます。  
 コンソールポートからのログインを無効にする場合に、チェックを外します。

### コンソールタイムアウト

コンソールからのログインセッションで、入力待ちの状態が続いたときセッションが切断されるまでの時間を指定します。

### Telnet 接続有効

Telnet サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

Telnet サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

Telnet ポート番号

Telnet サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

Telnet セッション最大数

Telnet セッションの最大接続数をリストから選択します。

Web インターフェース有効

HTTP サーバーを有効にする場合に、チェックを付けます。

HTTP サーバーを無効にする場合に、チェックを外します。

※ HTTP サーバーを無効にすると、本製品との通信ができなくなりますので、ご注意ください。

HTTP ポート番号

HTTP プロトコルのポート番号を指定します。

## FTP サーバー

FTP サーバー有効

FTP サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

FTP サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート番号

FTP サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

## TFTP

ポート番号

TFTP サーバーの UDP ポートを指定します。

## 温度アラーム

温度しきい値

SFP モジュール装着時に、内部温度の監視しきい値を環境条件にあわせて設定します。内部温度の監視しきい値を超えた場合にアラーム (SNMP トラップ、ログメッセージ) が出力されます。

40 (上限 40 環境)、45 (上限 45 環境)、50 (上限 45 環境) のどれかを選択します。GS908M V2、GS924M V2 のデフォルトは 45 (上限 45 環境) に設定されています。GS916M V2 のデフォルトは 50 (上限 50 環境) で設定されています。

- ※ GS908M V2/GS924M V2 で、AT-SPLX40、AT-SPZX80、AT-SPBD80-A/B の SFP モジュールを装着する場合は、45 (上限 45 環境) に設定します。
- ※ 各アラームが有効に設定されている必要があります。
- ※ GS908M V2-4PS では温度アラームは表示されません。

## FAN アラーム

### 回転 / 停止アラーム有効

ファン回転 / 停止アラームの出力を有効にする場合に、チェックを付けます。  
ファン回転 / 停止アラームの出力を無効にする場合に、チェックを外します。

※ GS908M V2 では FAN アラームは表示されません。

# スイッチ設定

## ポート

スイッチポートの各種設定を行います。

省電力モード

省電力モード有効

設定 リセット

ポート一覧

ポート	名称	通信モード	リンク	速度	ミラー	トラUNK	VlanID
<input type="checkbox"/> 1	-	100MFull	Up	Auto(MDI)	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 2	-	100MFull	Up	Auto(MDIX)	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 3	-	-	Down	Auto	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 4	-	-	Down	Auto	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 5	-	-	Down	Auto	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 6	-	-	Down	Auto	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 7	-	-	Down	Auto	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 8	-	-	Down	Auto	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 9	-	-	Down	Not applicable	None	-	de fault(1)
<input type="checkbox"/> 10	-	-	Down	Not applicable	None	-	de fault(1)

変更 全ポート変更 ステータス表示 再表示

## 省電力モード

省電力モードは、リンクしていないスイッチポートへの電力供給を制限し、消費電力を抑える機能です。本機能の設定は、スイッチポート別ではなく、装置全体に対して機能します。

省電力モードの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUIでも同じことができます。

省電力モードを有効にするときは、「省電力モード有効」にチェックを付けます。

省電力モードを無効にするときは、「省電力モード有効」のチェックを外します。

## ポート一覧

スイッチポートの情報が一覧で表示されます。

リストの中から設定を変更したいポートにチェックを付けて、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

リストの中からステータスを表示したいポートにチェックを付けて、「ステータス表示」ボタンをクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート一覧の情報が更新されます。

## ポート設定

「ポート設定」では、スイッチポートの各種設定を行います。

- 「ポート設定」の「設定」ボタンをクリックすると、対象ポートがいったんリンクダウンします。設定内容に変更がない場合や、ポート名称だけを変更した場合などにもリンクダウンしますのでご注意ください。

ポート設定

**ポート all**

**ポート名称(Description)**

<b>ポート状態(Status)</b> Enable ▾	<b>リンク(Link)</b> Enable(Up) ▾	<b>フロー制御(FlowControl)</b> Enable ▾
<b>通信モード(Speed/Duplex)</b> Auto-Negotiate ▾	<b>受信可能フレームタイプ(Acceptable)</b> すべて受信(All) ▾	
<b>極性自動切替(AutoMDI)</b> Enable ▾ <small>(※通信モードによって、自動設定される場合があります。)</small>		
<b>極性(Polarity)</b> MDI-X ▾		

- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定値が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目にはデフォルト値が表示されます。
- 下記の設定項目は、選択したポートによっては、表示されないものもあります。また、「全ポート変更」ボタンを

クリックした場合は、すべての項目が表示されますが、設定の必要なポートでのみ、設定は有効になります。

#### ポート名称 (Description)

ポート名称を設定します。

#### ポート状態 (Status)

スイッチポートの有効/無効をリストから選択します。

#### リンク (Link)

スイッチポートのポート状態を無効にしたときの物理的なリンクの有効/無効をリストから選択します。

#### フロー制御 (FlowControl)

フローコントロール ( Full Duplex 時の IEEE 802.3x PAUSE 受信 ) の有効/無効をリストから選択します。

#### 通信モード (Speed/Duplex)

ポートの通信速度とデュプレックスモードをリストから選択します。

#### 受信可能フレームタイプ (Acceptable)

受信可能なフレームタイプをリストから選択します。

#### 極性自動認識 (AutoMDI)

指定したスイッチポートで MDI/MDI-X 自動認識を有効 ( Enable ) にするか、無効 ( Disable ) にするかを、リストから選択します。( GS908M V2、GS908M V2-4PS の SFP ポートおよび GS916M V2、GS924M V2 のコンボポートでは無効 )

- ※ 通信モードで、固定スピード ( 100 Mbps - Full Duplex、100 Mbps - Half Duplex、10 Mbps - Full Duplex、10 Mbps - Half Duplex ) を設定した場合、MDI/MDI-X 自動認識は無効になります ( 有効には変更できません )。また、固定スピードからオートネゴシエーション ( Auto-Negotiate、100 Mbps - Full Auto、100 Mbps - Half Auto、10 Mbps - Full Auto、10 Mbps - Half Auto、10-100 Mbps Auto ) に変更した場合は、MDI/MDI-X 自動認識は無効のまま変わりません。1000MFULL を設定した場合は、MDI/MDI-X 自動認識は有効になります ( 無効にも変更できます )

#### 極性 (Polarity)

MDI/MDI-X 自動認識を無効にしたときの MDI/MDI-X の指定を、リストから選択します。( GS908M V2、GS908M V2-4PS の SFP ポートおよび GS916M V2、GS924M V2 のコンボポートでは無効 )

#### コンボポート (Combo)

コンボポートの冗長設定をリストから選択します。( コンボポートのみ設定有効 )

### ポートステータス表示

スイッチポートの詳細な情報が表示されます。

表示される内容については、SHOW SWITCH PORT コマンド ( 「スイッチング」 の 156 ページ ) の説明を参照してください。

- ※ GS916M V2、GS924M V2 のコンボポートでは、ポートセキュリティが未サポートであるにもかかわらず、セキュリティモード ( SecurityMode ) に 「 Automatic 」 と表示されます。( コマンドラインインターフェースでは 「 Not applicable 」 と表示 )

**ポートステータス表示**

**ポート 10**

<b>ポート名称(Description)</b> -	<b>受信可能フレームタイプ(AcceptableFrameTypes)</b> Acceptable All Frames
<b>ポート状態(Status)</b> Enabled	<b>セキュリティーモード(SecurityMode)</b> Automatic
<b>リンク状態(LinkState)</b> Link Down	<b>ミラーリング対象パケットの向き(Mirroring)</b> None
<b>通信モード(ConfiguredSpeed/Duplex)</b> Autonegotiate	<b>ミラーポート(MirrorPort)</b> No
<b>通信速度(Speed)</b> -	<b>有効なフロー制御方式(EnabledFlowControl)</b> -
<b>リンクアップからの経過時間(UpTime)</b> -	<b>所属トランクグループ(Trunk)</b> -
<b>物理インターフェイス(PortMediaType)</b> Ethernet CSMA/CD	<b>所属タグVLAN名(TaggedVLANs)</b> -
<b>ポートの種類(PortType)</b> -	<b>所属ポートベースVLAN名(VlanID)</b> default(1)
<b>極性自動切替(AutoMDI)</b> Not applicable	<b>インGRESSフィルタリング(IngressFiltering)</b> Off
<b>極性(Polarity)</b> Not applicable	<b>ユーザープライオリティー(Priority)</b> 0
<b>ブロードキャストパケットのリミット</b> -	
<b>未学習ユニキャストパケットのリミット</b> -	<b>SFP vendor name</b> -
<b>マルチキャストパケットのリミット</b> -	<b>SFP part number</b> -
	<b>SFP vendor SN</b> -
	<b>SFP data code</b> -

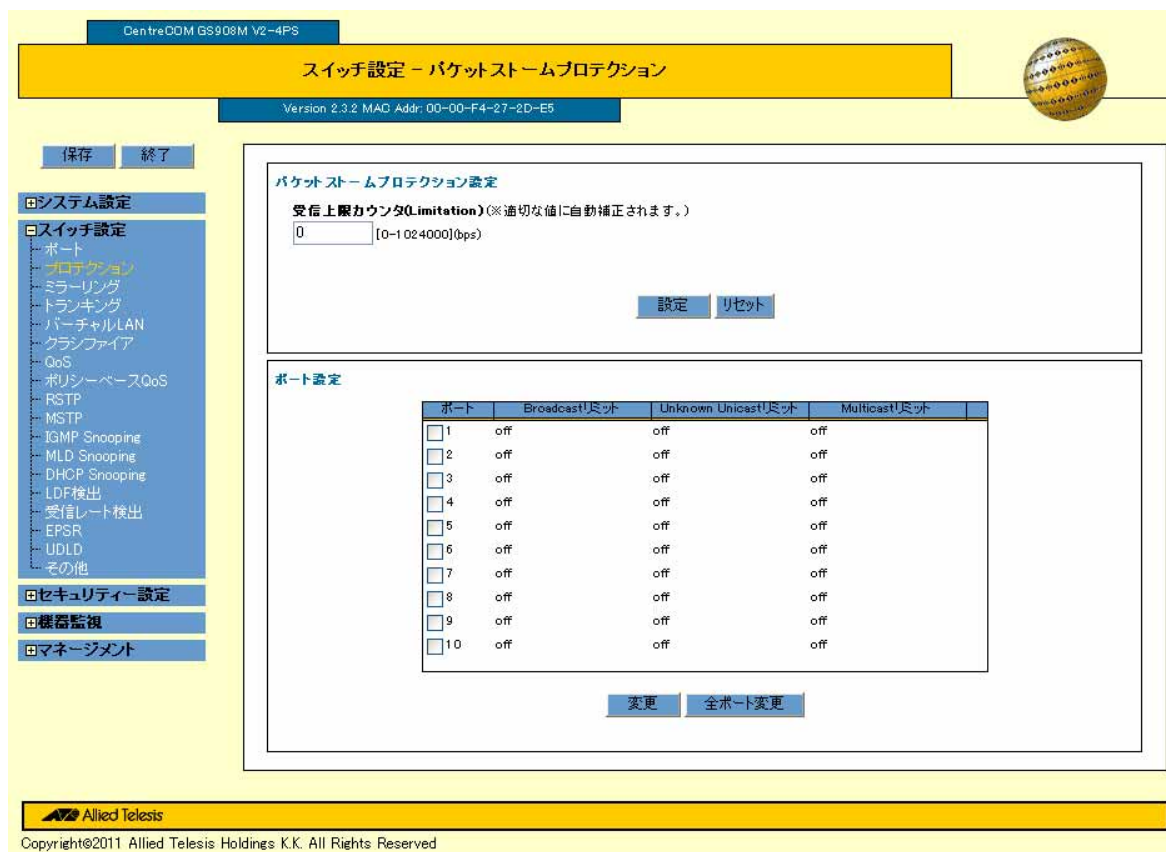
## プロテクション

パケットストームプロテクション（ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習のユニキャストフレームの受信レートに上限を設定し、パケットストームを防止するための機能）に関する設定を行います。

パケットストームプロテクションの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。





## パケットストームプロテクション設定

「受信上限カウンタ (Limitation)」に、パケットストームプロテクションで使用するしきい値を設定します。

## ポート設定

ポートのパケットストームプロテクションの有効/無効の設定状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「パケットストームプロテクション設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

## パケットストームプロテクション設定

ブロードキャスト、未学習ユニキャスト、マルチキャストの各パケットに対する、パケットストームプロテクションの有効/無効を設定します。

- ※ 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の有効/無効の状態が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目は無効として表示されます。

有効にするフレームにチェックを付けます。

無効にするフレームのチェックを外します。

未学習ユニキャストまたはマルチキャストを有効にする場合は、必ずブロードキャストも一緒に有効にしてください。

有効にできる組み合わせは、次のとおりです。

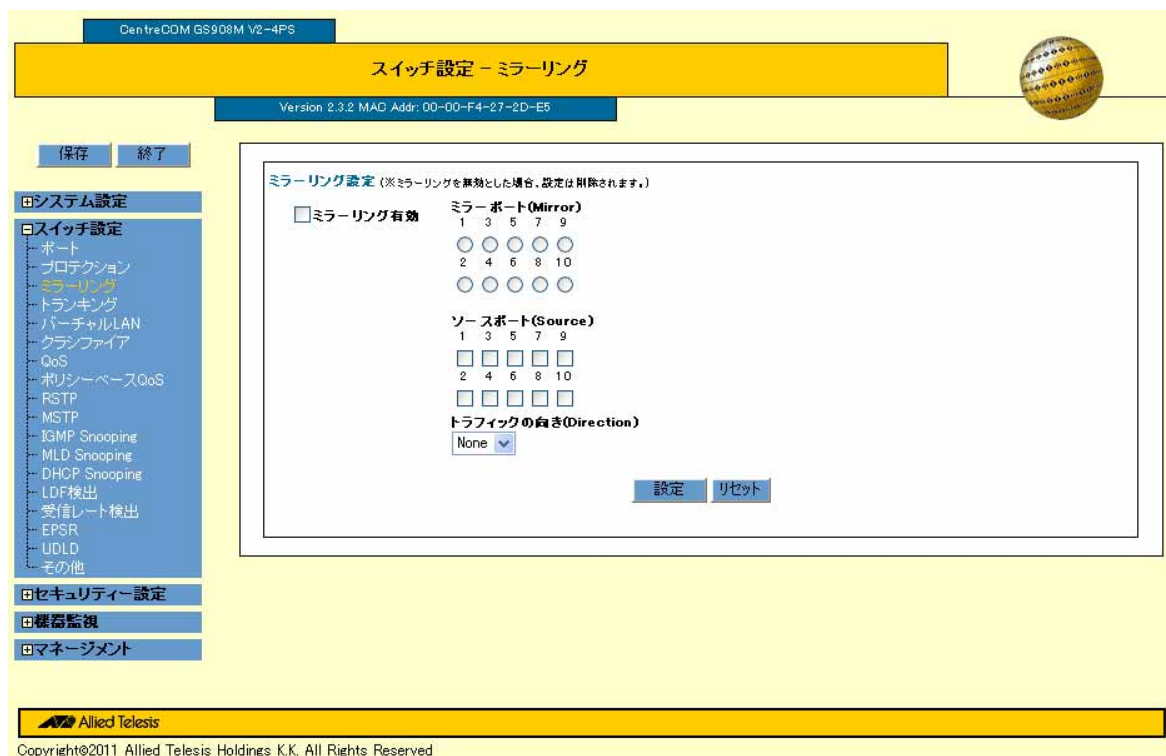
- ブロードキャストのみ
- ブロードキャストと未学習ユニキャスト
- ブロードキャストとマルチキャスト
- ブロードキャスト、未学習ユニキャストとマルチキャスト

## ミラーリング

ポートミラーリング（特定のポートを通過するトラフィックをあらかじめ指定したミラーポートにコピーする機能）に関する設定を行います。

ポートミラーリングの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明していますが、Web GUIでも同じことができます。



### ミラーリング有効

ポートミラーリング機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ポートミラーリング機能を無効にする場合に、チェックを外します。

### ミラーポート (Mirror)

ミラーポートに設定したいポートにチェックを付けます。ミラーポートは、1ポートのみ設定が可能です。ミラーポートを解除したいポートのチェックを外します。

### ソースポート (Source)

ソースポートに設定したいポートにチェックを付けます。

ソースポートを解除したいポートのチェックを外します。

### トラフィックの向き (Direction)

ミラーリングするトラフィックの向きをリストから選択します。

- ミラーリング機能を無効にすると、「ミラーリング有効」以外の設定も削除されます。

## トランキング

ポートトランキング（複数の物理ポートを束ねてスイッチ間の帯域幅を拡大する機能）に関する設定を行います。

ポートトランキングの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUIでも同じことができます。

CentreCOM GS908M V2-4PS

スイッチ設定 - トランキング

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキング
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レポート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

トランク設定

トランクグループ名	通信速度	ポート

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## トランクグループの作成

「追加」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 追加」が表示されます。

トランク設定 - 追加

トランクグループ名(TrunkGroupName)

通信速度(Speed) 1000 Mbps ▼

ポート(Ports)

1	3	5	7	9
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定 キャンセル リセット

次の項目を設定します。

#### トランクグループ名 (TrunkGroupName)

トランクグループ名を入力します。

#### 通信速度 (Speed)

トランクポートの通信速度をリストから選択します。

#### ポート (Ports)

トランクグループに追加するポートにチェックを付けます。1 グループには最大 8 ポートまで追加可能です。また、非連続な設定も可能です。

トランクグループから削除するポートのチェックを外します。

※ 100MSFP はトランクポートに設定できません。

### トランクグループの設定変更

作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名を選択して「変更」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 変更」が表示されます。ここでトランクグループの設定変更を行います。

### トランクグループの削除

作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されません。

## バーチャル LAN

バーチャル LAN (VLAN) (スイッチの設定によって論理的にブロードキャストドメインを分割する機能) に関する設定を行います。

バーチャル LAN の詳細については、「バーチャル LAN」 / 「概要・基本設定」をご覧ください。

「バーチャル LAN」 / 「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4FS

スイッチ設定 - バーチャルLAN

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- スイッチ設定
  - ポート
  - プロテクション
  - ミラーリング
  - トランッキング
  - バーチャルLAN
  - クラシファイア
  - QoS
  - ポリシーベースQoS
  - RSTP
  - MSTP
  - IGMP Snooping
  - MLD Snooping
  - DHCP Snooping
  - LDF検出
  - 受信レポート検出
  - EPSR
  - UDLD
  - その他
- セキュリティ設定
- 障害監視
- マネージメント

バーチャルLAN設定

IPインターフェース(VLAN): default

イングレスフィルタリング有効

設定 リセット

VLANグループ一覧

VLAN名	VID	タグ付きポート	タグなしポート
default	1	None	all

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## バーチャルLAN 設定

### IP インターフェース (VLAN)

マネージメントポートの所属 VLAN が表示されます。

### インGRESフィルタリング有効

インGRESフィルタリングを有効にする場合に、チェックを付けます。

インGRESフィルタリングを無効にする場合に、チェックを外します。

## VLAN の作成

「追加」ボタンをクリックすると、「VLAN 設定 - 追加」が表示されます。

VLAN設定 - 追加

VLAN名 (VlanName)  VID  [2-4094]

802.1QタグVLAN
  マルチプルVLAN(Protected Port版)

ポート(Ports) Group

1	None	Uplink	
2	None	Uplink	
3	None	Uplink	
4	None	Uplink	
5	None	Uplink	
6	None	Uplink	
7	None	Uplink	
8	None	Uplink	
9	None	Uplink	
10	None	Uplink	

次の項目を設定します。

VLAN 名 (VlanName)

VLAN 名を入力します。

VID

VLAN ID を入力します。

### 802.1Q タグ VLAN

802.1Q タグ VLAN を作成するときにチェックを付けます。

ポート (Ports)

作成した VLAN に、タグ付きポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグ付き」を選択します。

作成した VLAN に、タグなしポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグなし」を選択します。

作成した VLAN から削除する場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「None」を選択します。

### マルチプル VLAN(Protected Port 版)

マルチプル VLAN(Protected Port VLAN) を作成する場合に、チェックを付けます。

ポート (Ports)

作成した VLAN に、タグ付きポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグ付き」を選択します。

作成した VLAN に、タグなしポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグなし」を選択します。

作成した VLAN に、アップリンクポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「UPLINK」を選択します。

作成した VLAN に、クライアントポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横の「Group」に、任意のグループ番号を入力します。

作成した VLAN から削除する場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「None」を選択します。

### VLAN の設定変更

作成された VLAN の一覧から、設定を変更したい VLAN 名にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「VLAN 設定 - 変更」が表示されます。ここで VLAN の設定変更を行います。

VLAN設定 - 変更

<b>VLAN名 (VlanName)</b>	<b>VID</b>
<input type="text" value="default"/>	<input type="text" value="1"/>
<input checked="" type="radio"/> 802.1QタグVLAN <input type="radio"/> マルチプルVLAN(Protected Port版)	
<b>ポート(Ports)</b>	
Group	
1	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
2	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
3	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
4	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
5	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
6	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
7	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
8	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
9	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>
10	タグなし ▼ Uplink ▼ <input type="text"/>

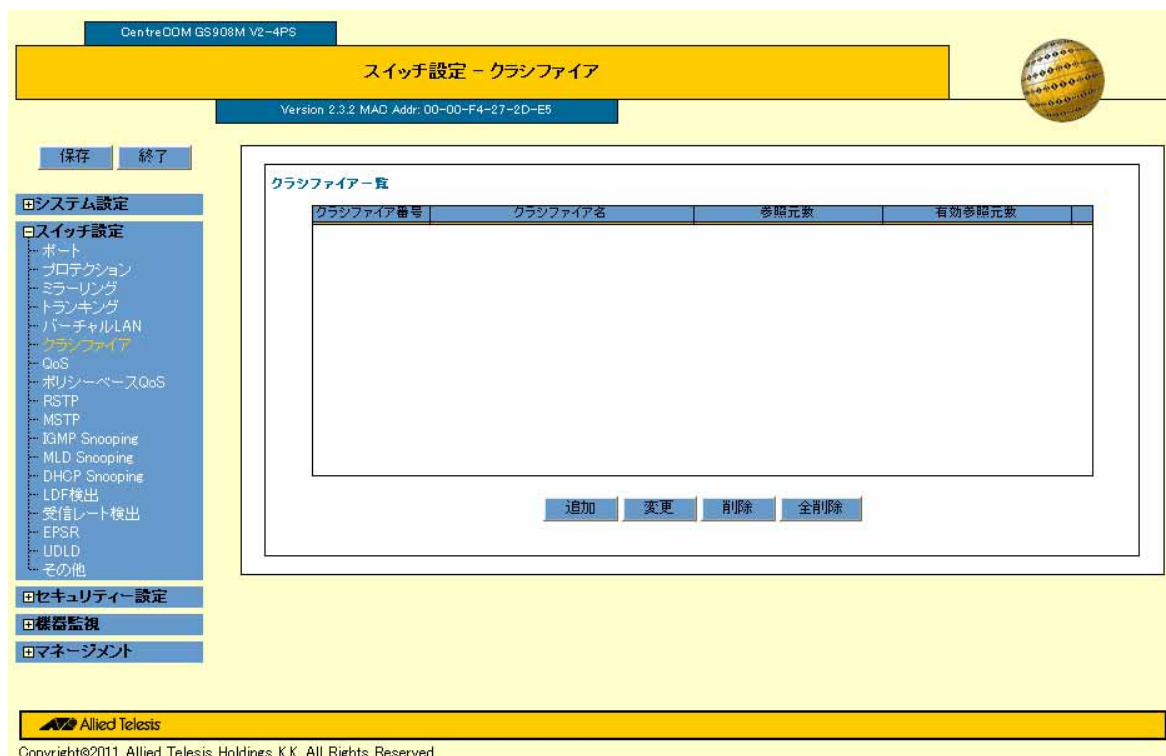
### VLAN の削除

作成された VLAN の一覧から、削除したい VLAN 名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されません。



## クラシファイア

ヘッダー情報に基づいてパケットを分類するクラシファイア機能に関する設定を行います。  
 クラシファイアの詳細については、「クラシファイア」 / 「概要・基本設定」をご覧ください。  
 「クラシファイア」 / 「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



### クラシファイア一覧

クラシファイアの追加、変更、削除、全削除を行います。  
 「追加」ボタンをクリックすると「クラシファイア 追加」が表示されます。

### クラシファイア 追加/変更

### クラシファイア - 追加

<p><b>クラシファイア番号(Classifier)</b>  <input type="text" value=""/> [1-9999]</p> <p><b>宛先MACアドレス(MACDAddr)</b>  <input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/></p> <p><b>送信元MACアドレス(MACSAddr)</b>  <input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/></p> <p><b>フレームフォーマット(EthFormat)</b>  <input type="text" value="ANY"/></p> <p><b>プロトコルフィールド値(Protocol)</b>  <input type="text" value="その他"/> [0x000-0xffff]</p> <p><b>IP TOS優先度フィールド値(PTOS)</b>  <input type="text" value=""/> [0-7]</p> <p><b>IPプロトコルフィールド値(ipProtocol)</b>  <input type="text" value="その他"/> [0x00-0xff]</p> <p><b>始点IPアドレス(IPSAddr)</b>  <input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/></p> <p><b>終点IPアドレス(IPDAddr)</b>  <input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/></p> <p><b>TCP始点ポート(TCPSPort)</b>  <input type="text" value=""/> [0-65535]</p> <p><b>TCP終点ポート(TCPDPort)</b>  <input type="text" value=""/> [0-65535]</p> <p><b>TCP制御フラグフィールド値(TCPFlags)</b>  <input type="text" value="ANY"/></p>	<p><b>クラシファイア名(Description)</b>  <input type="text" value=""/></p> <p><b>宛先MACアドレスマスク(MACDMask)</b>  <input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/> [00-ff]</p> <p><b>送信元MACアドレスマスク(MAGSMask)</b>  <input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/>-<input type="text" value=""/> [00-ff]</p> <p><b>ユーザープライオリティ(Priority)</b>  <input type="text" value=""/> [0-7]</p> <p><b>バーチャルLAN(VLAN)</b>  <input type="text" value=""/> [VLAN名 or 1-4094]</p> <p><b>IP DSCPフィールド値(IPDSCP)</b>  <input type="text" value=""/> [0-63]</p> <p><b>始点IPアドレスマスク</b>  <input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/> [0-255]</p> <p><b>終点IPアドレスマスク</b>  <input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/>.<input type="text" value=""/> [0-255]</p> <p><b>UDP始点ポート(UDPSPort)</b>  <input type="text" value=""/> [0-65535]</p> <p><b>UDP終点ポート(UDPDPort)</b>  <input type="text" value=""/> [0-65535]</p>
---	--

**クラシファイア番号 (Classifier)**

クラシファイア番号を指定します。任意の番号を指定してください。

**クラシファイア名 (Description)**

クラシファイアの説明を指定します。(1~31文字。空欄可)

**宛先 MAC アドレス (MACDAddr)**

対象パケットの宛先 MAC アドレスを指定します。

**宛先 MAC アドレスマスク (MACDMask)**

対象パケットの宛先 MAC アドレスへのマスクを指定します。

**送信元 MAC アドレス (MACSAddr)**

対象パケットの送信元 MAC アドレスを指定します。

送信元 MAC アドレスマスク (MACSMask)

対象パケットの送信元 MAC アドレスへのマスクを指定します。

フレームフォーマット (EthFormat)

対象パケットのフレームフォーマットを、ANY、ETHII-UNTAGGED、ETHII-TAGGED、ETHII-TAGGED、802.2-UNTAGGED、802.2-TAGGED の中から選択します。

ユーザープライオリティ (Priority)

対象パケットの 802.1p ユーザープライオリティ値を指定します。(0~7。空欄、ANY 入力可)

プロトコルフィールド値 (Protocol)

プロトコル名を IP、ARP、RARP から選択、またはプロトコル番号を指定します。

プロトコル番号を指定する場合は、その他を選択しプロトコル番号を指定します。(空欄、ANY 入力可)

バーチャル LAN(VLAN)

VLAN 名または VID を指定します。(空欄、ANY 入力可)

IP TOS 優先度フィールド (IPTOS)

対象パケットの IP TOS 優先度 (TOS オクテットの precedence) フィールド値を指定します。(0~7。空欄、ANY 入力可)

IP DSCP フィールド値 (IPDSCP)

対象パケットの IP DSCP (DiffServ Code Point) フィールド値を指定します。(0~63。空欄、ANY 入力可)

IP プロトコルフィールド値 (IpProtocol)

IP プロトコル名を TCP、UDP、ICMP、IGMP から選択、または IP プロトコル番号を指定します。

IP プロトコル番号を指定する場合は、その他を選択し IP プロトコル番号を指定します。(空欄、ANY 入力可)

始点 IP アドレス (IPSEAddr)

対象パケットの始点 IP アドレスを指定します。(空欄可)

始点 IP アドレスマスク

対象パケットの始点 IP アドレスへのマスクを指定します。(空欄可)

終点 IP アドレス (IPDAddr)

対象パケットの終点 IP アドレスを指定します。(空欄可)

終点 IP アドレスマスク

対象パケットの終点 IP アドレスへのマスクを指定します。(空欄可)

TCP 始点ポート (TCPSPort)

対象パケットの TCP 始点ポートを指定します。(0~65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

UDP 始点ポート (UDPSPort)

対象パケットの UDP 始点ポートを指定します。(0~65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

TCP 終点ポート (TCPDPort)

対象パケットの TCP 終点ポートを指定します。(0~65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

UDP 終点ポート (UDPDPort)

対象パケットの UDP 終点ポートを指定します。(0 ~ 65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

TCP 制御フラグフィールド値 (TCPFlags)

対象パケットの TCP 制御フラグのフィールド値を、ANY、URG、ACK、PSH、RST、SYN、FIN から指定します。

## QoS

パケットごとに送信時の優先度を変化させる QoS (Quality of Service) 機能に関する設定を行います。QoS の詳細については、「QoS」 / 「概要・基本設定」をご覧ください。

「QoS」 / 「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- QoS の設定の消去

CentreCOM GS900M V2-4PS

スイッチ設定 - QoS

Version 2.3.2 MAG Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキング
- バーチャルLAN
- クランファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信シート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

**QoS基本設定** (\* QoS有効を変更した場合、保存後、再起動する必要があります。)

QoS有効 (起動時：無効)

スケジューリング(Scheduling)

Weighted Round-Robin(WRR)

Strict Priority(STRICT)

モード(Mode)

Auto

送信キューの重み付け(HWQueue)

0: 1 1: 4 2: 10 3: 15

ユーザープライオリティへの送信キュー割り当て(HWPriority)

0: 1 1: 0 2: 0 3: 1 4: 2 5: 2 6: 3 7: 3

設定 リセット DSCP設定

ポートプライオリティ

ポート	ユーザープライオリティ
<input type="checkbox"/> 1	0
<input type="checkbox"/> 2	0
<input type="checkbox"/> 3	0
<input type="checkbox"/> 4	0
<input type="checkbox"/> 5	0
<input type="checkbox"/> 6	0
<input type="checkbox"/> 7	0
<input type="checkbox"/> 8	0
<input type="checkbox"/> 9	0

変更 全ポート変更

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### QoS 基本設定

QoS 有効

QoS を有効にする場合にチェックを付けます。

QoS を無効にする場合、チェックを外します。

、 設定変更後は、設定を保存し、システムを再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。

モード (Mode)

QoS スケジューリングのモードを Auto または 802.1p から選択します。

スケジューリング (Scheduling)

使用したい QoS スケジューリング方式にチェックを付けます。

送信キューの重み付け (HWQueue)

送信キューに重み付けを行います。

ユーザープライオリティーへの送信キュー割り当て (HWPriority)

QoS (Quality of Service) 機能の設定 (プライオリティータグフレームのユーザープライオリティー値と、本製品の送信キューのマッピング) を変更します。

**DSCP 設定**

「DSCP 設定」ボタンをクリックすると、「QoS - DSCP 設定」が表示されます。

CentreCOM GS908M V2-4PS

スイッチ設定 - QoS

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキング
- バーチャルLAN
- クランファイア
- QoS**
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF 検出
- 受信シート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

QoS - DSCP 設定

DSCP	Priority	DSCP	Priority	DSCP	Priority	DSCP	Priority
<input type="checkbox"/> 0	0	<input type="checkbox"/> 1	0	<input type="checkbox"/> 2	0	<input type="checkbox"/> 3	0
<input type="checkbox"/> 4	0	<input type="checkbox"/> 5	0	<input type="checkbox"/> 6	0	<input type="checkbox"/> 7	0
<input type="checkbox"/> 8	0	<input type="checkbox"/> 9	0	<input type="checkbox"/> 10	0	<input type="checkbox"/> 11	0
<input type="checkbox"/> 12	0	<input type="checkbox"/> 13	0	<input type="checkbox"/> 14	0	<input type="checkbox"/> 15	0
<input type="checkbox"/> 16	0	<input type="checkbox"/> 17	0	<input type="checkbox"/> 18	0	<input type="checkbox"/> 19	0
<input type="checkbox"/> 20	0	<input type="checkbox"/> 21	0	<input type="checkbox"/> 22	0	<input type="checkbox"/> 23	0
<input type="checkbox"/> 24	0	<input type="checkbox"/> 25	0	<input type="checkbox"/> 26	0	<input type="checkbox"/> 27	0
<input type="checkbox"/> 28	0	<input type="checkbox"/> 29	0	<input type="checkbox"/> 30	0	<input type="checkbox"/> 31	0
<input type="checkbox"/> 32	0	<input type="checkbox"/> 33	0	<input type="checkbox"/> 34	0	<input type="checkbox"/> 35	0
<input type="checkbox"/> 36	0	<input type="checkbox"/> 37	0	<input type="checkbox"/> 38	0	<input type="checkbox"/> 39	0
<input type="checkbox"/> 40	0	<input type="checkbox"/> 41	0	<input type="checkbox"/> 42	0	<input type="checkbox"/> 43	0
<input type="checkbox"/> 44	0	<input type="checkbox"/> 45	0	<input type="checkbox"/> 46	0	<input type="checkbox"/> 47	0
<input type="checkbox"/> 48	0	<input type="checkbox"/> 49	0	<input type="checkbox"/> 50	0	<input type="checkbox"/> 51	0
<input type="checkbox"/> 52	0	<input type="checkbox"/> 53	0	<input type="checkbox"/> 54	0	<input type="checkbox"/> 55	0
<input type="checkbox"/> 56	0	<input type="checkbox"/> 57	0	<input type="checkbox"/> 58	0	<input type="checkbox"/> 59	0
<input type="checkbox"/> 60	0	<input type="checkbox"/> 61	0	<input type="checkbox"/> 62	0	<input type="checkbox"/> 63	0

戻る 変更 全DSCP変更

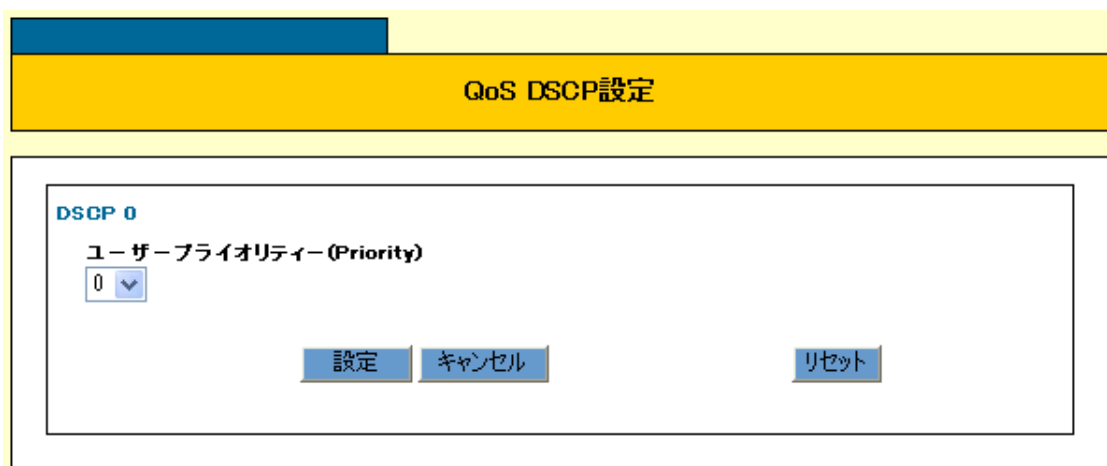
Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更する DSCP 値にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS DSCP 設定」が表示さ

れます。

「全 DSCP 変更」ボタンをクリックすると、すべての DSCP の設定を変更することができます。



- 1つの DSCP 値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数の DSCP 値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

DSCP テーブルの設定の変更を行います。

ユーザープライオリティ (Priority)

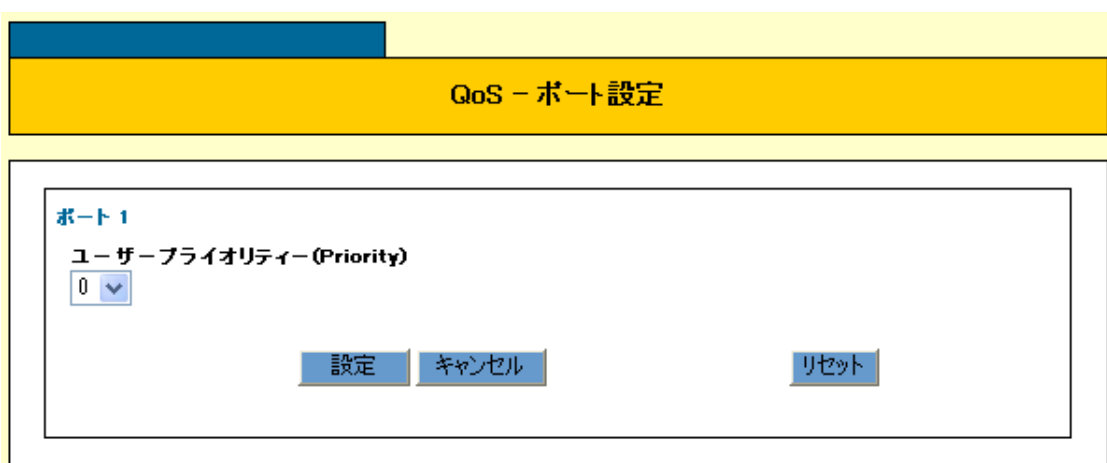
設定するユーザープライオリティ値をリストから選択します。

### ポートプライオリティ

スイッチポートのユーザープライオリティ値を指定します。

ポートプライオリティのポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。



- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

#### ユーザープライオリティ (Priority)

スイッチポートのユーザープライオリティ値を指定します。

## ポリシーベース QoS

ユーザーが定義したポリシーに基づき、各種トラフィックに任意のサービスレベルを割り当てるポリシーベース QoS (Quality of Service) 機能に関する設定を行います。

ポリシーベース QoS の詳細については、「QoS」/「ポリシーベース QoS」をご覧ください。

「QoS」/「ポリシーベース QoS」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4FS

スイッチ設定 - ポリシーベースQoS

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

障害監視

マネージメント

QoSポリシー一覧

QoSポリシー番号	QoSポリシー名	アクティブ	トラフィッククラス番号	入力ポート番号

追加 変更 削除 全削除

トラフィッククラス一覧

トラフィッククラス番号	トラフィッククラス名	アクティブ	QoSポリシー番号	フローグループ番号

追加 変更 削除 全削除

フローグループ一覧

フローグループ番号	フローグループ名	アクティブ	トラフィッククラス番号	クラシファイア番号

追加 変更 削除 全削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## QoS ポリシー一覧

QoS ポリシーの追加、変更、削除、全削除を行えます。

「追加」ボタンをクリックすると「QoS ポリシー - 追加」が表示されます。

### QoS ポリシー 追加/変更



### QoSポリシー - 追加

<p><b>QoSポリシー番号(Policy)</b>  <input type="text" value=""/> [0-255]</p> <p><b>IP DSCPフィールド上書き(RemarkInDscp)</b>  <input type="button" value="NONE"/> ▼</p> <p><b>IP ToSフィールド値(TOS)</b>  <input type="text" value=""/> [0-7]</p> <p><b>プライオリティをToSに反映 (MovePrioritytoToS)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p><b>トラフィッククラス(TrafficClassList)</b>  <input type="text" value=""/></p> <p><b>出力ポート(EgressPort)</b>  <input type="text" value=""/></p>	<p><b>QoSポリシー名(Description)</b>  <input type="text" value=""/></p> <p><b>IP DSCPフィールド値(InDscpOverWrite)</b>  <input type="text" value=""/> [0-63]</p> <p><b>ToSをプライオリティに反映 (MoveToStoPriority)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p><b>ミラーリング(SendToMirror)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p><b>入力ポート(IngressPort)</b>  <input type="text" value=""/></p> <p><b>出力先ポート(RedirectPort)</b>  <input type="text" value=""/></p>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input style="margin-left: 200px;" type="button" value="リセット"/>	

**QoS ポリシー番号 ( Policy )**

作成する QoS ポリシーの番号を指定します。( 0 ~ 255 )

**QoS ポリシー名 ( Description )**

作成する QoS ポリシーの説明を指定します。( 1 ~ 31 文字。空欄可。空白を含んでよい )

**IP DSCP フィールド上書き ( RemarkInDscp )**

IP ヘッダーの DSCP ( DiffServ Code Point ) フィールドの値を書き換えるかどうかを ALL ( すべて書き換える ) または NONE ( 書き換えない ) から選択します。

**IP DSCP フィールド値 ( InDscpOverWrite )**

IP ヘッダーの DSCP ( DiffServ Code Point ) フィールドに書き込む値を指定します。( 0 ~ 63、NONE 入力可 )

**IP ToS フィールド値 ( TOS )**

IP ヘッダーの TOS フィールドの値を指定します。( 0 ~ 7、NONE 入力可 )

**ToS をプライオリティに反映 ( MoveToStoPriority )**

IP ヘッダーの TOS フィールドの値をプライオリティに反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

**プライオリティを ToS に反映 ( MovePrioritytoToS )**

プライオリティ値を TOS フィールドの値に反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

**ミラーリング ( SendToMirror )**

クラシファイアの条件に当てはまるパケットをミラーリングするかどうかを Yes または No から選択します。

トラフィッククラス (TrafficClassList)

QoS ポリシーに対応づけるトラフィッククラス番号を指定します。(0~511。ハイフン、カンマでの複数指定可)

入力ポート (IngressPort)

QoS ポリシーを割り当てる入力ポートを指定します。(ハイフン、カンマでの複数指定可)

出力ポート (EgressPort)

QoS ポリシーを割り当てる出力ポートを指定します。

出力先ポート (RedirectPort)

トラフィックの出力先ポートを指定します。

### トラフィッククラス一覧

トラフィッククラスの追加、変更、削除、全削除を行えます。

「追加」ボタンをクリックすると「トラフィッククラス一覧 - 追加」が表示されます。

[トラフィッククラス一覧 追加/変更](#)

**トラフィッククラス - 追加**

<p><b>トラフィッククラス番号(TrafficClass)</b>  <input type="text" value=""/> [0-511]</p> <p><b>最大帯域超過アクション(ExceedAction)</b>  <input type="button" value="DROP"/> ▼</p> <p><b>IP DSCPフィールド値(MarkValue)</b>  <input type="text" value=""/> [0-63]</p> <p><b>バーストサイズ(BurstSize)</b>  <input type="text" value=""/> [4-512]</p> <p><b>プライオリティー上書き(RemarkPriority)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p><b>IP ToSフィールド値(ToS)</b>  <input type="text" value=""/> [0-7]</p> <p><b>プライオリティーをToSに反映(MovePrioritytoToS)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p>	<p><b>トラフィッククラス名(Description)</b>  <input type="text" value=""/></p> <p><b>上書きDSCP値(ExceedRemarkValue)</b>  <input type="text" value="0"/> [0-63]</p> <p><b>最大帯域幅(MaxBandWidth)</b>  <input type="text" value=""/> [0-1016]</p> <p><b>プライオリティー(Priority)</b>  <input type="text" value=""/> [0-7]</p> <p><b>ToSをプライオリティーに反映(MoveToS to Priority)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p><b>フローグループ(FlowGroupList)</b>  <input type="text" value=""/> [0-1023]</p>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input style="margin-left: 200px;" type="button" value="リセット"/>	

トラフィッククラス番号 (TrafficClass)

作成するトラフィッククラスの番号を指定します。(0~511)

トラフィッククラス名 (Description)

作成するトラフィッククラスの説明を指定します。(1~31文字。空欄可。空白を含んでよい)

最大帯域超過アクション (ExceedAction)

トラフィッククラスに割り当てられた最大帯域を超えた場合の処理を DROP (破棄) または REMARK (IP ヘッダーの DSCP フィールド値を「上書き DSCP 値」で指定した値に書き換えて転送) から選択します。

上書き DSCP 値 (ExceedRemarkValue)

「最大帯域超過アクション」で REMARK を選択した場合に、IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドに書き込む値を指定します。(0~63)

「最大帯域超過アクション」で REMARK を選択した場合のみ、指定可能となります。

IP DSCP フィールド値 (MarkValue)

IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドに書き込む値を指定します。(0~63、NONE 入力可)

最大帯域幅 (MaxBandWidth)

トラフィッククラスに割り当てる最大帯域幅 (Mbps) を指定します。(0~100)

バーストサイズ (BurstSize)

トラフィッククラスのバッファのサイズ (Kbps) を指定します。(4~512)

※ 「バーストサイズ」を指定する場合は、「最大帯域幅」も設定しなければ機能しません。

プライオリティー (Priority)

トラフィッククラスで設定するプライオリティーの値を指定します。(0~7)

プライオリティー上書き (RemarkPriority)

受信パケットのユーザープライオリティー値を、「プライオリティー」で設定した値で上書きするかどうかを Yes または No から選択します。

IP ToS フィールド値 (TOS)

IP ヘッダーの TOS フィールドの値の値を指定します。(0~7、NONE 入力可)

ToS をプライオリティーに反映 (MoveToStoPriority)

IP ヘッダーの TOS フィールドの値をプライオリティーに反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

プライオリティーを ToS に反映 (MovePrioritytoToS)

プライオリティー値を TOS フィールドの値に反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

フローグループ番号

トラフィッククラスに対応づけるフローグループ番号を指定します。(0~1023。ハイフン、カンマでの複数指定可)

## フローグループ一覧

フローグループの追加、変更、削除、全削除を行えます。  
 「追加」ボタンをクリックすると「フローグループ一覧 - 追加」が表示されます。

フローグループ一覧 追加/変更

### フローグループ - 追加

<p><b>フローグループ番号(FlowGroup)</b>  <input type="text"/> [0-1023]</p> <p><b>IP DSCPフィールド値(MarkValue)</b>  <input type="text"/> [0-63]</p> <p><b>プライオリティー上書き(RemarkPriority)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p><b>IP ToSフィールド値(TOS)</b>  <input type="text"/> [0-7]</p> <p><b>プライオリティーをToSに反映(MovePrioritytoToS)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p>	<p><b>フローグループ名(Description)</b>  <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p><b>プライオリティー(Priority)</b>  <input type="text"/> [0-7]</p> <p><b>ToSをプライオリティーに反映(MoveToStoPriority)</b>  <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p><b>クラシファイア(ClassifierList)</b>  <input style="width: 100%;" type="text"/> [1-9999]</p>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input style="margin-left: 200px;" type="button" value="リセット"/>	

フローグループ番号 (FlowGroup)  
 作成するフローグループの番号を指定します。(0~1023)

フローグループ名 (Description)  
 作成するフローグループの説明を指定します。(1~31文字。空欄可。空白を含んでよい)

IP DSCP フィールド値 (MarkValue)  
 IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドに書き込む値を指定します。(0~63、NONE 入力可)

プライオリティー (Priority)  
 フローグループで設定するプライオリティーの値を指定します。(0~7)

プライオリティー上書き (RemarkPriority)  
 受信パケットのユーザープライオリティー値を、「プライオリティー」で設定した値で上書きするかどうかを Yes または No から選択します。

IP ToS フィールド値 (TOS)  
 IP ヘッダーの TOS フィールドの値を指定します。(0~7、NONE 入力可)

ToS をプライオリティーに反映 (MoveToStoPriority)

IP ヘッダーの TOS フィールドの値をプライオリティに反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

プライオリティを ToS に反映 (MovePrioritytoToS)

プライオリティ値を TOS フィールドの値に反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

クラシファイア (ClassifierList)

フローグループに対応づけるクラシファイア番号を指定します。(0~9999。ハイフン、カンマでの複数指定可)

## RSTP

ラピッドスパンニングツリープロトコルの設定を行います。

スパンニングツリーの詳細については、「スパンニングツリープロトコル」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スパンニングツリープロトコル」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- ラピッドスパンニングツリープロトコル (Rapid STP) の設定の消去

## ステータス

Rapid STP の設定情報、動作状況が表示されます。

表示される項目は、SHOW STP コマンド（「スパンニングツリープロトコル」の 51 ページ）の説明を参照してください。

## 基本設定

Rapid STP ドメインのブリッジ設定、スパンニングツリーパラメーターを設定します。

### スパンニングツリー有効

Rapid STP を有効にするポートにチェックを付けます。

Rapid STP を無効にするポートはチェックを外します。

### RSTP の動作モード (RstpType)

Rapid STP の動作モードを選択します。

RSTP BPDU を使う (Nomal) : RSTP BPDU を使う場合に選択します。

標準 BPDU を使う (STP Compatible) : RSTP の設定を使用するが、STP BPDU を使う場合に選択します。

### ハロータイム (HelloTime)

ハロータイム (ルートブリッジが BPDU ( Bridge Protocol Data Unit ) を送信する間隔) を設定します。

### 最大エージタイム (MaxAge)

最大エージタイム (ルートブリッジから BPDU が届かなくなったことを認識するまでの時間) を設定します。

### ブリッジプライオリティ (Priority)

ブリッジプライオリティを 4096 の倍数で設定します。

### フォワードディレイタイム (ForwardDelay)

フォワードディレイタイム (ネットワーク構成の変更後に、ルートブリッジ内のポートがディスカージングからラーニング、ラーニングからフォワーディング状態に遷移するまでの最大時間) を設定します。

## ポート設定

指定した Rapid STP ドメインのポートのスパンニングツリーパラメーターを変更します。

「ポート設定」ボタンをクリックすると、ポート状態の一覧が表示されます。

CentreCOM GS900M V2-4PS

### スイッチ設定 - RSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

**システム設定**

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランッキング
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP**
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

**セキュリティ設定**

機器監視

マネージメント

ポート設定

ポート	有効	状態	Role	Edge	P2P	バージョン	コスト
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	-	-	-	-	-	-

戻る      変更      全ポート変更      再表示

Allied Telesis  
Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「スパンニングツリー - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート状態の表示が更新されます。

### スパンニングツリー - ポート設定

**ポート 1**

**プライオリティ (Priority)**  
 [0-240]  
(※適切な値に自動補正されます。)

**パスコスト (Cost)**  
 [0-200000000]  
(0 = Auto Update)

**ポイントツーポイント (Point-to-Point)**  
 ▼

**エッジポート (Edge)**  
 ▼

- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

#### プライオリティ (Priority)

ポートプライオリティを設定します。

#### パスコスト (Cost)

パスコストを設定します。

#### ポイントツーポイント (Point-to-Point)

該当ポートが他のブリッジとポイントツーポイントで接続されているかどうかをリストから選択します。

#### エッジポート (Edge)

該当ポートがエッジポートかどうかをリストから選択します。

## MSTP

マルチプルスパニングツリープロトコル (MSTP) の設定を行います。

MSTP の詳細については、「スパニングツリープロトコル」 / 「Multiple STP」をご覧ください。

「スパニングツリープロトコル」 / 「Multiple STP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- マルチプルスパニングツリープロトコルの設定の消去



CentreCOM GS908M V2-4PS
スイッチ設定 - MSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存   終了

**システム設定**

**スイッチ設定**

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキング
- バーチャルLAN
- クランファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP**
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 宛先レート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

**セキュリティ設定**

**障害監視**

**マネージメント**

**ステータス**

---

Protocol Version: Normal  
 Bridge Identifier : 32768 : 00-00-F4-27-2D-E5  
 Root Bridge : 0 : 00-00-00-00-00-00  
 Root Path Cost : 0  
 Max Age : 0  
 Max Hops : 20  
 Hello Time : 0  
 Forward Delay : 0

**基本設定**

マルチプルスパニングツリー有効 (※ マルチプルスパニングツリー有効時に ProtocolVersion を変更した場合、MSTインスタンスの設定は削除されます。)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1	3	5	7	9
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

MSTリージョン名 (ConfigName)     
 レビジョン (RevisionLevel)    [0-65535]  
 MSTP動作モード (ProtocolVersion)  

ハロータイム (HelloTime)    [1-10](秒)  
 フォワードディレイタイム (ForwardDelay)    [4-30](秒)

最大エージタイム (MaxAge)    [6-40](秒)  
 最大ホップ数 (MaxHops)    [1-40]

**GIST/MSTインスタンス一覧**

インスタンスID	プライオリティ	ルートID	パスコスト	VID
0 (GIST)	32768	0/00:00:00:00:00:00	0	1

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## ステータス

マルチプルスパニングツリープロトコル (MSTP) の設定情報、動作状況が表示されます。表示される項目は、SHOW MSTP コマンド (「スパニングツリープロトコル」の 41 ページ) の説明を参照してください。

## 基本設定

MSTP ドメインのブリッジ設定、パラメーターを設定します。

マルチプルスパニングツリー有効

MSTP を有効にするポートにチェックを付けます。

MSTP を無効にするポートはチェックを外します。

MST リージョン名 (ConfigName)

MST リージョン名を設定します。

ハロータイム (HelloTime)

ハロータイム (ルートブリッジが BPDU ( Bridge Protocol Data Unit ) を送信する間隔) を設定します。

最大エージタイム (MaxAge)

最大エージタイム (ルートブリッジから BPDU が届かなくなったことを認識するまでの時間) を設定します。

リビジョン (RevisionLevel)

MST リージョン設定のリビジョンを設定します。

フォワードディレイタイム (ForwardDelay)

フォワードディレイタイム (ネットワーク構成の変更後に、ルートブリッジ内のポートがディスカードイングからラーニング、ラーニングからフォワーディング状態に遷移するまでの最大時間) を設定します。

最大ホップ数 (MaxHops)

最大ホップ数を設定します。

MSTP 動作モード (ProtocolVersion)

MSTP の動作モードを設定します。

MSTP : MSTP BPDU を使う

STPCOMPATIBLE : MSTP の設定を使用するが、STP BPDU を使う

## CIST/MST インスタンス一覧

CIST、MST インスタンスの一覧を表示します。

「追加」をクリックすると「MST インスタンス - 追加」が表示されます。

インスタンス ID 「0 (CIST)」にチェックを入れ、「変更」をクリックすると「CIST - 変更」が表示されます。

「0 (CIST)」以外のインスタンス ID にチェックを入れ、「変更」をクリックすると「MST インスタンス - 変更」が表示されます。

インスタンス ID 「0 (CIST)」にチェックを入れ、「ポート設定」をクリックすると「ポート設定/インスタンス ID 0 (CIST)」が表示されます。

「0 (CIST)」以外のインスタンス ID にチェックを入れ、「ポート設定」をクリックすると「ポート設定/インスタンス ID xx」が表示されます。

## MST インスタンス追加

**MSTインスタンス - 追加**

**MSTインスタンス設定**

**MSTインスタンスID (MSTI)**  [1-15]      **プライオリティ (Priority)**  [0-65535] (\*適切な値に自動補正されます。)

**所属VLAN一覧**

VLAN名	VID

**VLAN設定**

VLAN [VLAN名 or 1-4094 or ALL]

**MST インスタンス (MSTI)**  
MST インスタンス ID を設定します。

**プライオリティ (Priority)**  
該当 MST インスタンスにおけるブリッジプライオリティを設定します。

**所属 VLAN 一覧**  
MST インスタンスに割り当てられている VLAN の一覧を表示します。

**VLAN 設定**  
MST インスタンスに割り当てる VLAN を追加します。

CIST 変更

**CIST - 変更**

**設定**

**プライオリティ (Priority)**

[0-65535] (\*適切な値に自動補正されます。)

**所属VLAN一覧**

VLAN名	VID
<input type="radio"/> de fault	1

#### プライオリティ (Priority)

該当 MST インスタンスにおけるブリッジプライオリティを設定します。

#### 所属 VLAN 一覧

MST インスタンスに割り当てられている VLAN の一覧を表示します。

#### MST インスタンス変更

**MSTインスタンス - 変更**

**MSTインスタンス設定**

**MSTインスタンスID (MSTI)**    **プライオリティ (Priority)**

[1-15]                       [0-65535] (※適切な値に自動補正されます。)

**所属VLAN一覧**

VLAN名	VID

**VLAN設定**

**VLAN** [VLAN名 or 1-4094 or ALL]

**MST インスタンス (MSTI)**  
MST インスタンス ID を設定します。

**プライオリティ (Priority)**  
該当 MST インスタンスにおけるブリッジプライオリティを設定します。

**所属 VLAN 一覧**  
MST インスタンスに割り当てられている VLAN の一覧を表示します。

**VLAN 設定**  
MST インスタンスに割り当てる VLAN を変更します。

ポート設定/インスタンス ID 0 (CIST)

指定した MSTP ドメインのポートのスパニングツリーパラメーターを変更します。

CentreODM GS908M V2-4PS

スイッチ設定 - MSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- スイッチ設定
  - ポート
  - プロテクション
  - ミラーリング
  - トランッキング
  - バーチャルLAN
  - クランファイア
  - QoS
  - ポリシーベースQoS
  - RSTP
  - MSTP
  - IGMP Snooping
  - MLD Snooping
  - DHCP Snooping
  - LDF検出
  - 受信レート検出
  - EPSR
  - UDLD
  - その他
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント

ポート設定 / インスタンスID 0 (GIST)

ポート	有効	状態	Role	Edge	P2P	バージョン	External Cost	Internal Cost
<input type="checkbox"/> 1	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 2	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 3	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 4	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 5	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 6	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 7	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 8	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 9	Disable	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 10	Disable	-	-	-	-	-	-	-

戻る 変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「CIST - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート状態の表示が更新されます。

**CIST - ポート設定**

**ポート 1**

<p><b>プライオリティ (Priority)</b>  <input type="text" value="128"/> [0-255]  <small>(※適切な値に自動補正されます。)</small></p> <p><b>External Path Cost</b>  <input type="text" value="0"/> [0-200000000]  <small>(0 = Auto Update)</small></p> <p><b>Internal Path Cost</b>  <input type="text" value="0"/> [0-200000000]  <small>(0 = Auto Update)</small></p>	<p><b>ポイントツーポイント (Point-to-Point)</b>  <input type="text" value="Auto Detect"/> ▼</p> <p><b>エッジポート (Edge)</b>  <input type="text" value="No"/> ▼</p>
--	--

- ＼ 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

**プライオリティ (Priority)**

ポートプライオリティを設定します。

**External Path Cost**

CIST ルートブリッジが所属するリージョンまでのパスに対するポート通過コストを設定します。

**Internal Path Cost (Cost)**

CIST リージョナルルート (MST リージョン内における CIST ツリーのルートブリッジ) までのパスに対するポート通過コストを設定します。

**ポイントツーポイント (Point-to-Point)**

該当ポートが他のブリッジとポイントツーポイントで接続されているかどうかをリストから選択します。

**エッジポート (Edge)**

該当ポートがエッジポートかどうかをリストから選択します。

ポート設定/インスタンス ID xx

指定した MSTP ドメインのポートのスパニングツリーパラメーターを変更します。

CentreCOM GS908M V2-4PS

スイッチ設定 - MSTP

Version 2.3.2 MAG Addr. 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- スイッチ設定
  - ポート
  - プロテクション
  - ミラーリング
  - トランキング
  - バーチャルLAN
  - クラシファイア
  - QoS
  - ポリシーベースQoS
  - RSTP
  - MSTP
  - IGMP Snooping
  - MLD Snooping
  - DHCP Snooping
  - LDF検出
  - 受信レポート検出
  - EPSR
  - UDLD
  - その他
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント

ポート設定 / インスタンスID 1

ポート	有効	状態	Role	Edge	P2P	バージョン	External Cost	Internal Cost
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	-	-	-	-	-	-	-

戻る 変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「MST インスタンス - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート状態の表示が更新されます。

MSTインスタンス - ポート設定

MSTインスタンス 1 / ポート 1

プライオリティ (Priority)

[0-255]  
 (\*適切な値に自動補正されます。)

パスコスト (Cost)

[0-200000000]  
 (0 = Auto Update)

設定 キャンセル リセット



- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

プライオリティ（Priority）

ポートプライオリティを設定します。

パスコスト（Cost）

パスに対するポート通過コストを設定します。

## IGMP Snooping

IGMP Snooping（VLAN 環境において不要なマルチキャストトラフィックをフィルタリングする機能）に関する設定を行います。

IGMP Snooping の詳細については、「IGMP Snooping」 / 「概要・基本設定」をご覧ください。

「IGMP Snooping」 / 「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

### 設定

IGMP Snooping 有効

IGMP Snooping を有効にする場合に、チェックを付けます。

IGMP Snooping を無効にする場合に、チェックを外します。

タイムアウト時間 (Timeout)

IGMP Snooping 有効時、グループが作成後 Membership Report を受信しなくなってから、グループを削除するまでの時間を設定します。

マルチキャストアドレス最大学習数 (NumberMulticastGroup)

マルチキャストアドレスの最大登録数を設定します。

ルーターポート (RouterPort)

Auto、None、Select から選択します。

Select を選択した場合、ルーターポートに設定するポートにチェックを入れます。

IP マルチキャストアドレス一覧

現在登録されている IP マルチキャストアドレスを表示します。

IP マルチキャストアドレス-追加

IP マルチキャストアドレスを追加します。

**IPマルチキャストアドレス - 追加**

<p><b>IPマルチキャストアドレス(MCGroup)</b></p> <p>0 . 0 . 0 . 0</p>	<p><b>連続作成(Number)</b></p> <p>1 [1-255]</p>
<p><b>ルーターポート(RouterPort)</b></p> <p>1 3 5 7 9</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>2 4 6 8 10</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	

IP マルチキャストアドレス (MCGroup)

IGMP Snooping の対象となる IP マルチキャストアドレスを指定します。

連続作成 (Number)

同時に追加するマルチキャストグループ数を指定します。

ルーターポート (RouterPort)

IGMP Snooping においてルーターポートで受信したマルチキャストパケットの転送先となるメンバーポートにチェックを付けます。

## MLD Snooping

MLD Snooping は、VLAN 環境において不要な IPv6 マルチキャストトラフィックをフィルタリングする機能です。

CentreCOM GS908M V2-4PS

スイッチ設定 - MLD Snooping

Version: 2.3.2 MAO Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキンク
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レポート検出
- EPSSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機能監視

マネージメント

設定

MLD Snooping 有効

タイムアウト時間 (Timeout)  
260 [0-65400] (秒)

マルチキャストアドレス最大学習数 (NumberMulticastGroup)  
64 [1-255]

ルーターポート (RouterPort)  
Auto

1 3 5 7 9  
2 4 6 8 10

すべて選択 すべて解除

設定 リセット

マルチキャストグループ一覧

マルチキャストグループアドレス	ルーターポート

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### 設定

MLD Snooping 有効

MLD Snooping を有効にする場合に、チェックを付けます。

MLD Snooping を無効にする場合に、チェックを外します。

タイムアウト時間 (Timeout)

該当グループの Multicast Listener Report を受信できなくなってから、グループを削除するまでの時間を指定します。

マルチキャストアドレス最大学習数 (NumberMulticastGroup)  
マルチキャストアドレスの最大登録数を設定します。

ルーターポート (RouterPort)  
Auto、None、Select から選択します。  
Select を選択した場合、ルーターポートに設定するポートにチェックを入れます。

### マルチキャストグループ一覧

マルチキャストグループの一覧を表示します。

### マルチキャストグループ-追加

「追加」ボタンをクリックすると、「マルチキャストグループ-追加」が表示されます。

マルチキャストグループ - 追加

マルチキャストグループアドレス(MCGroup)  
0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0 : 0

ルーターポート(RouterPort)  
1 3 5 7 9  
      
2 4 6 8 10

追加      リセット

OK

マルチキャストグループアドレス (MCGroup)  
MLD Snooping の対象となる IPv6 マルチキャストグループアドレスを指定します。

ルーターポート (Ports)  
MLD Snooping においてルーターポートで受信したマルチキャストパケットの転送先となるメンバーポートにチェックを付けます。

## DHCP Snooping

DHCP Snooping は、DHCP サーバー・クライアント間でやりとりされる DHCP メッセージを監視して動的な IP ソースフィルタリングを行う機能です。

DHCP Snooping の詳細については、「スイッチング」 / 「DHCP Snooping」をご覧ください。

CentreCOM GS900M V2-4PS

スイッチ設定 - DHCP Snooping

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- スイッチ設定
  - ポート
  - プロテクション
  - ミラーリング
  - トラッキング
  - バーチャルLAN
  - クラッシュファイア
  - QoS
  - ポリシーベースQoS
  - RSTP
  - MSTP
  - IGMP Snooping
  - MLD Snooping
  - DHCP Snooping**
  - LDF検出
  - 受信レート検出
  - EPSSR
  - UDLD
  - その他
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント

基本設定 (※本設定の前に、本体との接続ポートをTrustedポートに設定してください。デフォルトのまま本機能を有効にすると、本体との通信ができなくなります。)

DHCP Snooping 有効     ARPセキュリティ有効     チェック間隔(CheckInterval) [1-3600](秒)

オプションコード82有効

クライアント情報削除条件(CheckOptions)

DHCP RELEASEパケット受信

リンクダウン

ログ機能

ARPセキュリティ

MACアドレスフィルタリング

設定    リセット    ポート設定

バインディングデータベースエントリー一覧

MACアドレス	IPアドレス	VLAN	ポート	種類

追加    削除

MACアドレスフィルタリング設定一覧

フィルター番号	MACアドレス	MACアドレスマスク	VLAN	ポート	アクション

追加    変更    削除    全削除

全設定/動作情報 削除

全削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## 基本設定

DHCP Snooping の基本設定を行います。

- 本設定の前に、本体との接続ポートを Trusted ポートに設定してください。デフォルトのまま本機能を有効にすると、本体との通信ができなくなります。

### DHCP Snooping 有効

DHCP Snooping を有効にする場合は、チェックを付けます。

DHCP Snooping を無効にする場合は、チェックを外します。

## ARP セキュリティー有効

ARP セキュリティーを有効にする場合は、チェックを付けます。

ARP セキュリティーを無効にする場合は、チェックを外します。

## オプションコード 82 有効

リレーエージェント情報オプションの処理機能を有効にする場合は、チェックを付けます。

リレーエージェント情報オプションの処理機能を無効にする場合は、チェックを外します。

## チェック間隔 (CheckInterval)

バインディングデータベースのチェック間隔を指定します。(1~3600 秒)

## クライアント情報削除条件 (CheckOptions)

クライアント情報を削除する条件を選択します。

## ログ機能

ログ機能を使用する場合に、ログに記録するイベントの種類を選択します。

## ポート設定

ポートごとの設定をメインエリアに表示します。

設定の変更は、ポート設定欄で変更したいポートにチェックを付けて「変更」ボタンをクリックするか、「全ポート変更」ボタンをクリックします。「DHCP Snooping - ポート設定」が表示されます。

DHCP Snooping - ポート設定

ポートの設定を変更します。

The screenshot shows a web interface for configuring DHCP Snooping on a specific port. The title bar reads "DHCP Snooping - ポート設定". The main configuration area is titled "ポート 1" and contains the following elements:

- 最大許可クライアント数 (MaxLeases):** A numeric input field containing "1" with a range indicator "[0-5]" to its right.
- Subscriber-ID:** A text input field.
- ポート種別:** A dropdown menu currently showing "Untrusted".
- Buttons:** Three buttons are located at the bottom: "設定" (Set), "キャンセル" (Cancel), and "リセット" (Reset).

## 最大許可クライアント数 (MaxLeases)

指定ポート経由の IP 通信を許可するクライアント数を指定します。(0~5)

## Subscriber-ID

指定ポートの Subscriber-ID を指定します。(最大 50 文字。空欄可)

ポート種別

DHCP Snooping におけるポート種別を、Trusted または Untrusted から選択します。

**バインディングデータベースエントリー一覧**

バインディングデータベースに登録されたクライアントを表示します。

バインディングデータベース クライアント情報 - 追加

バインディングデータベースにクライアントを追加します。

MAC アドレス (Binding)

クライアントの MAC アドレスを指定します。(大文字・小文字のどちらでも入力可)

所属 VLAN(Interface)

クライアントの所属 VLAN 名、または VID を指定します。

IP アドレス (IP)

クライアントの IP アドレスを指定します。

接続ポート (Port)

クライアントが接続している接続ポートを選択します。(複数ポートの選択不可)

**MAC アドレスフィルタリング設定一覧**

MAC アドレスフィルタリングの設定情報を表示します。

## MAC アドレスフィルタリングエントリー 追加/変更

MAC アドレスフィルタリング一覧にエントリーを追加します。

**MACアドレスフィルタリングエントリー – 追加**

**フィルター番号(MacFilter)**  
 [1-999]

**対象MACアドレス(Address)**      **対象MACアドレスマスク(Mask)**  
-----      ----- [00-ff]

**アクション(Action)**      **バーチャルLAN(VLAN)**  
 ▼       [VLAN名 or 1-4094]

**対象ポート(Port)**  
 1   3   5   7   9  
      
 2   4   6   8   10

**フィルター番号 (MacFilter)**  
 エントリーの ID を指定します。(1 ~ 999)

**対象 MAC アドレス (Address)**  
 フィルタリング対象装置の MAC アドレスを指定します。(大文字・小文字のどちらでも入力可。省略可)

**対象 MAC アドレスマスク (Mask)**  
 フィルタリング対象装置の MAC アドレスへのマスクを指定します。(大文字・小文字のどちらでも入力可。省略可。省略時は FF-FF-FF-FF-FF-FF を指定)

**アクション (Action)**  
 条件に一致したときのアクションを、Permit または Deny から選択します。

**バーチャル LAN(VLAN)**  
 VLAN 名または VID を指定します。(省略可)

**対象ポート (Port)**  
 MAC アドレスフィルタリングを割り当てるポートを選択します。(複数ポート指定可)

## LDF 検出



LDF ( Loop Detection Frame ) によりループ発生の検出と動作の保全を行う LDF 検出機能に関する設定を行います。

LDF 検出の詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

The screenshot shows the web GUI for LDF detection settings. The page title is "スイッチ設定 - LDF検出". The sidebar on the left contains navigation options: "システム設定", "スイッチ設定", "セキュリティ設定", "障害監視", and "マネージメント". The "スイッチ設定" section is expanded, showing options like "ポート", "プロテクション", "ミラーリング", "トランッキング", "バーチャルLAN", "クランファイア", "QoS", "ポリシーベースQoS", "RSTP", "MSTP", "IGMP Snooping", "MLD Snooping", "DHCP Snooping", "LDF検出", "受信レート検出", "EPSR", "UDLD", and "その他".

The main content area has two sections:

- LDF検出有効**: A grid of checkboxes for ports 1 through 10. Below the grid are buttons for "すべて選択", "すべて解除", "設定", and "リセット".
- ポート一覧**: A table with columns: "ポート", "状態", "タイマー", "ポート有効", "リンク", and "B/G 通信". The table lists ports 1 through 10 with their respective status, timer, LDF status, link status, and B/G communication status.

At the bottom of the page, there is a footer with the Allied Telesis logo and copyright information: "Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved".

### LDF 検出有効

LDF 検出を有効にする場合に、チェックを付けます。

LDF 検出を無効にする場合に、チェックを外します。

### ポート設定

スイッチポートの LDF 検出に関する値を設定します。

LDF 検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「LDF 検出 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

LDF検出 - ポート設定

**ポート 1**

**LDF検出時のアクション(Action)**

**LDF送信間隔(Interval)**  
 [1-1000000](秒)

**セキュアフレーム(Secure)**

**ブロックタイムアウト(BlockTime out)**  
  [1-86400](秒)

- ✦ 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

#### LDF 検出時のアクション (Action)

LDF を検出した場合のアクションをリストから選択します。

#### LDF 送信間隔 (Interval)

LDF の送信間隔を設定します。

#### セキュアフレーム (Secure)

セキュアな LDF を受信するかどうかをリストから選択します。

#### ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

## 受信レート検出

受信レートの検出によりループ発生時の動作の保全を行う受信レート検出機能に関する設定を行います。

受信レート検出の詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4PS

スイッチ設定 - 受信レート検出

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

受信レート検出有効

1 3 5 7 9  
      
 2 4 6 8 10

すべて選択 すべて解除

設定 リセット

ポート一覧

ポート	高レート	タイマー	低レート	タイマー	ポート有効	リンク	E/D通信
<input type="checkbox"/> 1	--	--	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 2	--	--	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 3	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 4	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 5	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 6	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 7	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 8	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 9	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 10	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### 受信レート検出有効

受信レート検出を有効にする場合に、チェックを付けます。  
 受信レート検出を無効にする場合に、チェックを外します。

### ポート設定

スイッチポートの受信レート検出に関する値を設定します。  
 受信レート検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「受信レート検出 - ポート設定」が表示されます。  
 「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

受信レート検出 - ポート設定

**ポート 1**

**高レート検出時のアクション(HighRate Action)**

**高レートしきい値(HighRate Threshold)**  
 [2-1 024000](Kbps)

**低レート検出時のアクション(LowRate Action)**

**低レートしきい値(LowRate Threshold)**  
 [1-1 023999](Kbps)

**ブロックタイムアウト(BlockTimeout)**  
  [1-86400](秒)

- ✧ 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

#### 高レート検出時のアクション (HighRateAction)

受信レートが高レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

#### 高レートしきい値 (HighRateThreshold)

受信レートが高レートのしきい値を設定します。

#### 低レート検出時のアクション (LowRateAction)

受信レートが低レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

#### 低レートしきい値 (LowRateThreshold)

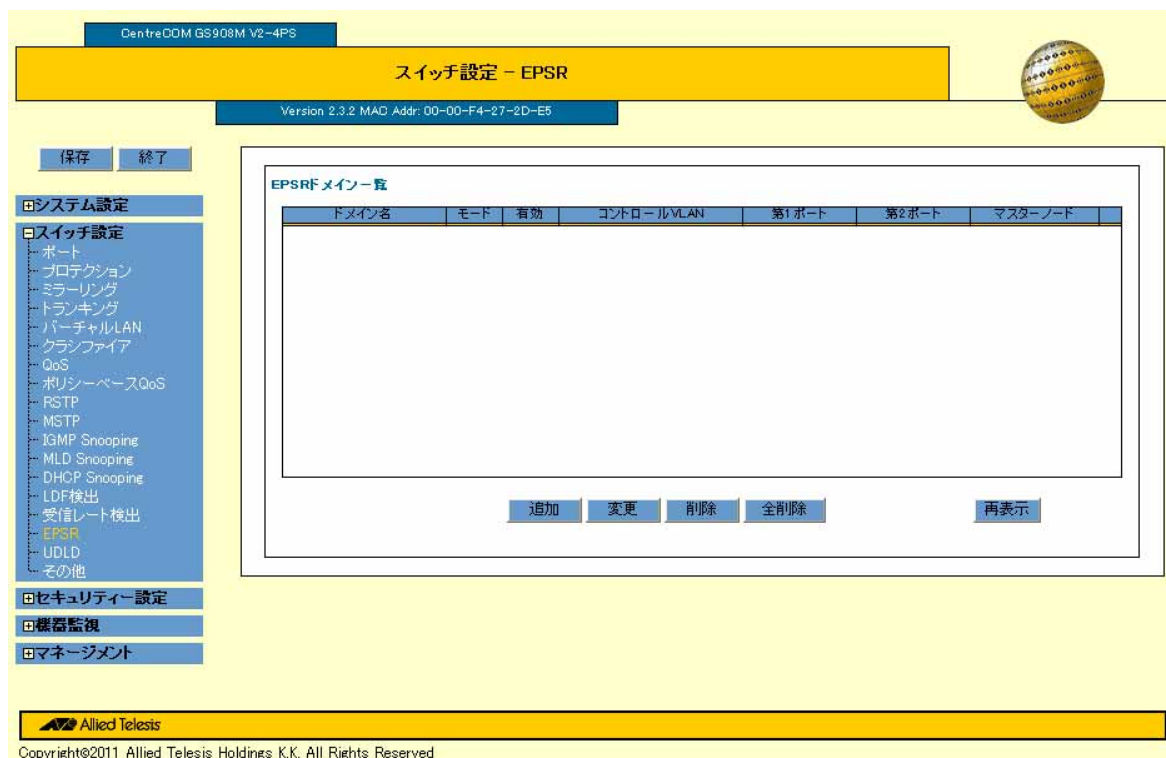
受信レートが低レートのしきい値を設定します。

#### ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

## EPSR

イーサネットリングプロテクション (EPSR = Ethernet Protected Switched Ring) のドメインの一覧を表示します。



「追加」ボタンをクリックすると、「EPSR ドメイン-追加」が表示され、EPSR ドメインを追加することができます。

リストの中から設定を変更したい EPSR ドメインにチェックを付けて、「変更」ボタンをクリックすると、「EPSR ドメイン-変更」が表示され、EPSR ドメインの設定を変更することができます。

リストの中から削除したい EPSR ドメインにチェックを付けて、「削除」ボタンをクリックすると、選択した EPSR ドメインが削除されます。

「全削除」をクリックすると作成済みの EPSR ドメインがすべて削除されます。「全削除」は PURGE EPSR と同じです。EPSR の設定はデフォルト状態に戻ります。

「再表示」ボタンをクリックすると、EPSR ドメインのリストが更新されます。

表示される項目については、SHOW EPSR コマンド（「スイッチング」の 143 ページ）を参照してください。

### EPSR ドメイン-追加

EPSRFメイン - 追加

**EPSRFメイン設定**

本ドメインを有効にする

EPSRFメイン名 (EpsrDomainName)

モード (Mode)      マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)  
 Aware ▼      Disabled ▼

コントロールVLAN (ControlVlan) [VLAN名 or 1-4094]

**データVLAN一覧**

データVLAN名	VID

**データVLAN設定**

データVLAN (DataVlan) [VLAN名 or 1-4094]

#### 本ドメインを有効にする

EPSR を有効にする場合に、チェックを付けます。  
 EPSR を無効にする場合に、チェックを外します。

#### EPSR ドメイン名 (EpsrDomainName)

EPSR ドメイン名を入力します。

#### モード (Mode)

Aware、Transit から選択可能です。

#### マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)

リングトポロジチェンジが発生した場合、IGMP Snooping/MLD Snooping で使用するマルチキャストアドレスをFDB から削除するかどうかを Enabled (削除する) / Disabled (削除しない) で設定します。

#### コントロールVLAN (ControlVlan)

EPSR ドメインの動作を制御するためのVLANをVLAN名または、VIDで指定します。

### データ VLAN 一覧

保護対象の VLAN の一覧を表示します。

### データ VLAN (DataVlan)

保護対象の VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。各 EPSR ドメインには複数のデータ VLAN を指定可能です。

## EPSR ドメイン-変更

- 「EPSR ドメイン-変更」では、「EPSR ドメイン名 (EpsrDomainName)」、「モード (Mode)」、「マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)」、「コントロール VLAN (ControlVlan)」の設定は変更できません。

EPSRドメイン - 変更

**EPSRドメイン設定**

本ドメインを有効にする

EPSRドメイン名 (EpsrDomainName)

モード (Mode)      マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)  
     

コントロール VLAN (ControlVlan) [VLAN名 or 1-4094]

**データVLAN一覧**

データVLAN名	VID

**データVLAN設定**

データVLAN (DataVlan) [VLAN名 or 1-4094]

### 本ドメインを有効にする

EPSR を有効にする場合に、チェックを付けます。

EPSR を無効にする場合に、チェックを外します。

### データ VLAN 一覧

保護対象の VLAN の一覧を表示します。

### データ VLAN (DataVlan)

保護対象の VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。各 EPSR ドメインには複数のデータ VLAN を指定可能です。

## UDLD

UDLD (対向機器との間でフレームの到達性を監視する機能) に関する設定を行います。

UDLD の詳細については、「スイッチング」/「UDLD」をご覧ください。

「スイッチング」/「UDLD」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS903M V2-4PS

スイッチ設定 - UDLD

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

- スイッチ設定
  - ポート
  - プロテクション
  - ミラーリング
  - トランキング
  - バーチャルLAN
  - クラシファイア
  - QoS
  - ポリシーベースQoS
  - RSTP
  - MSTP
  - IGMP Snooping
  - MLD Snooping
  - DHCP Snooping
  - LDF検出
  - 受信シート検出
  - EPSR
  - UDLD
  - その他
- セキュリティ設定
- 様器監視
- マネージメント

基本設定

プロブメッセージ送信間隔(Message Time)  [7~90](秒)

ポート閉塞時間(Disable Time)  [30~86400](秒)

設定 リセット

ポート設定

ポート	有効	モード
<input type="checkbox"/> 1	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 2	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 3	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 4	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 5	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 6	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 7	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 8	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 9	Disable d	Normal
<input type="checkbox"/> 10	Disable d	Normal

変更 全ポート変更

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### 基本設定

#### プロブメッセージ送信間隔 (MessageTime)

UDLD プロブメッセージの送信間隔 (秒) を指定します。(7~90)

#### ポート閉塞時間 (DisableTime)



Unidirectional 検出によるポート閉塞の持続時間（秒）を指定します。（30～86400、NONE を入力すると無制限に設定）

### ポート設定

スイッチポートの UDLD に関する項目を設定します。

UDLD のポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「UDLD - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

The screenshot shows the 'UDLD - ポート設定' (UDLD - Port Configuration) page. The main content area is titled 'ポート 1' (Port 1). It contains two dropdown menus: 'UDLD設定' (UDLD Setting) is set to 'Disable', and 'モード' (Mode) is set to 'Normal'. Below these are three buttons: '設定' (Apply), 'キャンセル' (Cancel), and 'リセット' (Reset).

#### UDLD 設定

UDLD の有効 (Enable) /無効 (Disable) をリストから選択します。

#### モード

UDLD を有効にする場合の動作モードを Aggressive、Normal から選択します。

### その他

## フォワーディングデータベース

フォワーディングデータベース (FDB) のエージングタイマーに関する設定を行います。

### エージングタイマー有効

エージングタイマーを有効にする場合に、チェックを付けます。

エージングタイマーを無効にする場合に、チェックを外します。

### エージングタイム

エージングタイムを指定します。

## BPDU パケット透過

BPDU パケット透過機能の有効/無効を設定します。

### BPDU パケット透過有効

BPDU パケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。

BPDU パケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

## EAP パケット透過

EAP パケット透過機能の有効/無効を設定します。

### EAP パケット透過有効

EAP パケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。

EAP パケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

## セキュリティ設定

### ポートセキュリティ

ポートセキュリティ（MAC アドレスに基づき、ポートごとに通信を許可するデバイスを制限する機能）に関する設定を行います。

ポートセキュリティの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明していますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4PS

セキュリティ設定 - ポートセキュリティ

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

- ポートセキュリティ
- RADIUSサーバー
- 認証用WEBサーバー
- ポート認証

障害監視

マネージメント

ポート一覧

ポート	モード	学習最大	学習数	ロック状態	Intrusion Action
<input type="checkbox"/> 1	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 2	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 3	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 4	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 5	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 6	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 7	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 8	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 9	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 10	Automatic	-	-	OFF	Discard

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### ポート一覧

ポートセキュリティの状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「ポートセキュリティ設定」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

### ポートセキュリティ設定

「ポートセキュリティ設定」で、ポートセキュリティの設定を行います。

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

#### セキュリティモード

セキュリティモードをリストの中から選択し、設定します。

#### 不正アクセス時のアクション (Intrusion Action)

セキュリティモードで、Limited または Secured 指定時に、不正パケット受信時の動作を設定します。

#### 学習最大値 (Learn)

学習可能な送信元 MAC アドレスの最大数を設定します。

- ポートセキュリティが有効 (Secure モード、Limited モード) なポートに対して、通信を許可するアドレスを手動登録するには、「機器監視」-「FDB」の「スタティックエントリー登録」で、スタティック MAC アドレスを登録します。

## RADIUS サーバー

ユーザー認証、ポート認証で使用する RADIUS サーバー (Remote Authentication Dial In User Server) の登録および、RADIUS サーバーのアカウント機能に関する設定を行います。

RADIUS サーバーの詳細については、「ポート認証」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「ポート認証」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS900M V2-4FS

セキュリティ設定 - RADIUSサーバー

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
スイッチ設定  
セキュリティ設定  
ポートセキュリティ  
RADIUSサーバー  
認証用WEBサーバー  
ポート認証  
障害監視  
マネージメント

**RADIUSアカウント設定**

アカウンティング有効 (Status)      アカウンティングポート番号 (ServerPort)  
1813 [1~65535]

アカウンティング情報蓄積タイプ (Type)  
Network

アカウンティング開始タイミグ (Trigger)  
Start Stop

インターリムパケット送信有効 (UpdateEnable)      インターリムパケット送信間隔 (Interval)  
60 [30~300] (秒)

設定    リセット

**RADIUSクライアント設定**

応答待ち時間 (Timeout)      要求抑制時間 (Deadtime)  
6 [1~15] (秒)      0 [0~1440] (分)

再送回数 (Retransmitcount)      RADIUSサーバー無応答時の動作 (DEAD-ACTION)  
3 [1~5] (回)      拒否 (Deny)

設定    リセット

**認証サーバーリスト**

優先順位	サーバー	ポート	パスワード	リクエスト	リプライ	ステータス
<input type="radio"/> 1	0.0.0.0	1812	<Not Defined>	0	0	Alive
<input type="radio"/> 2	0.0.0.0	1812	<Not Defined>	0	0	Alive

変更      再表示

Allied Telesis  
Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## RADIUS アカウント設定

### アカウンティング設定

RADIUS サーバーのアカウント機能の有効にする場合にチェックを付けます。  
RADIUS サーバーのアカウント機能を無効にする場合にチェックを外します。

### アカウンティングポート番号 (ServerPort)

RADIUS サーバーのアカウント用 UDP ポート番号を指定します。

### アカウンティングポート情報蓄積タイプ (Type)

アカウンティング情報を転送して蓄積する場所を、リストから選択します。

### アカウンティングポート開始タイミグ (Trigger)

アカウンティング要求パケットをサーバーに送出するタイミグをリストから選択します。

### インターリムパケット送信有効 (UpdateEnable)

ユーザーが利用中に、利用状況をサーバーに送信するアカウント要求 (インターリム) パケットを送信する場合はチェックを付けます。

インターリムパケット送信間隔 (Interval)  
 インターリムパケットを送信する間隔を設定します。

### RADIUS クライアント設定

応答待ち時間 (Timeout)

RADIUS サーバーへの要求に対する応答待ち時間を 1～15 秒の範囲で設定します。デフォルトは 6 秒。

要求抑制時間 (Deadtime)

RADIUS サーバーへの要求が規定回数 (1 + RETRANSMITCOUNT 回) タイムアウトしたときに、該当サーバーが「使用不可」であるとみなして同サーバーの使用を抑制する時間を 0～1440 分の範囲で設定します。デフォルトは 0 分。

再送回数 (Retransmitcount)

RADIUS サーバーへの要求再送回数を 1～5 回の範囲で設定します。デフォルトは 3 回。

RADIUS サーバー無応答時の動作 (DEAD-ACTION)

RADIUS サーバーからの応答がないとき、通信を許可する/許可しないを選択します。デフォルトは許可しない。

### RADIUS サーバー設定

認証サーバーリストで、設定を変更するサーバーにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「RADIUS サーバー設定」が表示されます。

**RADIUSサーバー設定**

<b>優先順位(Order)</b> 1	<b>認証用ポート番号(Port)</b> 1812 [1~65535]
<b>サーバーIPアドレス(Server)</b> 0 . 0 . 0 . 0	<b>アカウントポート番号(AccPort)</b> 1813 [1~65535]
<b>共有パスワード(Secret)</b> <input type="text"/>	

「RADIUS サーバー設定」で、RADIUS サーバーに関する設定を行います。

優先順位 (Order)

RADIUS サーバーの優先順位を指定します。「1」固定です。

認証用ポート番号 (Port)

RADIUS サーバーの認証用 UDP ポート番号を指定する。

サーバー IP アドレス (Server)

RADIUS サーバーの IP アドレスを指定する。

アカウントングポート番号 (AccPort)

RADIUS サーバーのアカウントング用 UDP ポート番号を指定します。

共有パスワード (Secret)

RADIUS サーバーとの通信に使う共有パスワードを指定します。

## 認証用 WEB サーバー

Web 認証サーバーの設定を行います。

ポート認証の詳細については、「ポート認証」/「概要・基本設定」をご覧ください。

The screenshot shows the 'Security Settings - Authentication Web Server' configuration page. The page title is 'セキュリティ設定 - 認証用WEBサーバー' and the version is 'Version 2.3.2 MAO Addr: 00-00-F4-27-2D-E5'. The interface includes a navigation menu on the left with options like 'システム設定', 'スイッチ設定', 'セキュリティ設定', '機器監視', and 'マネージメント'. The main content area is divided into two sections: '認証用WEBサーバー設定' and 'メッセージ設定'. In the '認証用WEBサーバー設定' section, there is a checkbox for '認証用WEBサーバー有効', a text input for 'ポート番号(ServerPort)' with the value '8080' and a range '(1-65535)', and a text input for 'リダイレクトURL(RedirectURL)'. Below these are '設定' and 'リセット' buttons. The 'メッセージ設定' section contains five rows, each with a text input for a message (Message 1 to Message 5) and '設定' and 'リセット' buttons. The footer of the page includes the Allied Telesis logo and copyright information: 'Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved'.

## 認証用 WEB サーバー設定

認証用 WEB サーバー有効

認証用 WEB サーバー機能を有効にする場合にチェックを付けます。

認証用 WEB サーバー機能を無効にする場合にチェックを外します。

ポート番号 (ServerPort)



Web 認証サーバーの TCP ポート番号を設定します。

リダイレクト URL (RedirectURL)

Web 認証の成功後に自動的にジャンプするページの URL を設定します。

## メッセージ設定

メッセージ 1 (Message1)

Web 認証ログイン画面の表示内容を設定します。

メッセージ 2 (Message2)

Web 認証ログイン画面の表示内容を設定します。

メッセージ 3 (Message3)

Web 認証ログイン画面の表示内容を設定します。

メッセージ 4 (Message4)

Web 認証ログイン画面の表示内容を設定します。

メッセージ 5 (Message5)

Web 認証ログイン画面の表示内容を設定します。

## ポート認証

ポート単位で LAN 上の機器を認証する IEEE 802.1X 認証（以下、ポート認証）に関する設定を行います。  
ポート認証の詳細については、「ポート認証」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「ポート認証」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS908M V2-4PS

**セキュリティ設定 - ポート認証**

Version: 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
  - ポートセキュリティ
  - RADIUSサーバー
  - 認証用WEBサーバー
  - ポート認証
- 障害監視
- マネージメント

**ポートアクセス設定** (\*EAPパケット透過が有効な場合、本機能は使用できません)

ポート認証有効

802.1X認証プロトコル(Method)  
RADIUS EAP

DHCPサーバー (DhcpServer) リースタイム(Lease Time)  
Disabled 20 [10-86400](秒)

設定 リセット

---

**RADIUSサーバー送信用MACアドレスフォーマット設定**

MACベース認証User-Name/Password属性(UserIdFormat) Calling/Called-Station-ID属性(CsIdFormat)  
XX-XX-XX-XX-XX-XX XX-XX-XX-XX-XX-XX

設定 リセット

---

**ポート一覧**

ポート	認証	タイプ	VLAN	モード	認証状態	状態	再認証タイマー	追加情報
<input type="checkbox"/> 1	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 2	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 3	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 4	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 5	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 6	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 7	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 8	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 9	----	None	----	----	----	----	----	----
<input type="checkbox"/> 10	----	None	----	----	----	----	----	----

変更 全ポート変更 Supplicant MAC透過設定 ログ設定 全ポートログ設定 再表示

Allied Telesis  
Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## ポートアクセス設定

### ポート認証有効

ポート認証モジュールを有効にする場合にチェックを付けます。  
ポート認証モジュールを無効にする場合にチェックを外します。

### 802.1X 認証プロトコル ( Method )

ポート認証モジュールで使用する認証プロトコルを、リストから選択します。

### DHCP サーバー ( DhcpServer )

認証用 DHCP サーバー機能の有効/無効をリストから選択します。

### リースタイム ( LeaseTime )

IP アドレスのリース時間を指定します。

## RADIUS サーバー送信用 MAC アドレスフォーマット設定

MAC アドレスのフォーマットを選択します。

### ポート一覧

ポートごとのポート認証の設定と状態が一覧で表示されます。

一覧から設定を変更するポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート認証 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「ログ設定」、「全ポートログ設定」ボタンをクリックすると「認証ログ設定」が表示されます。

### ポート設定

「ポート認証 - ポート設定」で、ポートのポート認証の設定を行います。

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

#### ポート認証機能無効

ポートのポート認証機能を無効にしたい場合は、「ポート認証無効」をチェックを付けます。

**ポート認証 - ポート設定**

**ポート 1**

ポート認証無効     Authenticatorポート     Supplicantポート

設定キャンセルリセット

Supplicant ポートの設定  
ポートを Supplicant ポートに指定したい場合は、「Supplicant ポート」にチェックを付け、次の項目を設定します。

**ポート認証 - ポート設定**

**ポート 1**

ポート認証無効  
  Authenticatorポート  
  Supplicantポート

**認証方法 (PortAuth)** (\*ミラーノトラシクノスバニシグツリノセキュリティーポ-トでは設定できません)  
 802.1X ▼

<p><b>応答待ち時間 (AuthPeriod)</b>                  30 [1-300](秒)</p> <p><b>認証失敗時の無通信時間 (HeldPeriod)</b>                  60 [0-65535](秒)</p> <p><b>EAPOL-Start最大送信回数 (MaxStart)</b>                  3 [1-10](回)</p>	<p><b>EAPOL-Start再送間隔 (StartPeriod)</b>                  30 [1-60](秒)</p> <p><b>ユーザー名 (UserName)</b>  <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p><b>パスワード (UserPassword)</b>  <input style="width: 100%;" type="password"/></p>
--	---

- 認証方法 (PortAuth) : 認証方法。802.1X ( 802.1X 認証 ) のみ
- 応答待ち時間 (AuthPeriod) : Authenticator に EAP-Response パケットを送信した後、Authenticator からの応答を待つ時間を指定
- 認証失敗時の無通信時間 (HeldPeriod) : 認証失敗後、Authenticator との通信を試みない期間を指定
- EAPOL-Start 最大送信回数 (MaxStart) : EAPOL-Start パケットの最大送信回数を指定
- EAPOL-Start 再送間隔 (StartPeriod) : Authenticator に EAPOL-Start パケットを再送信する間隔を指定
- ユーザー名 (UserName) : 指定スイッチポートが Supplicant として動作する場合に使うユーザー名を指定。必ずパスワードと組で指定
- パスワード (UserPassword) : 指定スイッチポートが Supplicant として動作する場合に使うパスワードを指定。必ずユーザー名と組で指定

## Authenticator ポートの設定

ポートを Authenticator ポートに指定したい場合は、「Authenticator ポート」にチェックを付け、次の項目を設定します。

ポート認証 - ポート設定

**ポート 1**

ポート認証無効
  Authenticator ポート
  Supplicant ポート

**認証方法 (PortAuth)** (\*ミラーポート/トランク/スパンニングツリー/セキュリティ/コンポポートでは設定できません)  
 802.1X

**モード (Mode)**  
 Single

**ポートコントロール (Control)**  
 Auto

**Supplicant 再認証 (ReauthEnabled)**  
 Enabled

**Supplicant タイムアウト時間 (SuppTimeout)**  
 30 [1-600](秒)

**Server タイムアウト時間 (ServerTimeout)**  
 30 [1-600](秒)

**Piggy back モード (PiggyBack)**  
 Disabled

**動的 VLAN (Vlan Assignment)** (\*マルチプル VLAN 有効時、Enabled には設定できません)  
 Enabled

**動的 VLAN タイプ (Vlan Assignment Type)**  
 Port

**ゲスト VLAN (GuestVlan)**    **ゲスト VLAN** [VLAN 名 or 1-4094]  
 Disabled

**Secure VLAN**  
 On

- 認証方法 (PortAuth): 認証方法。8021X(802.1X 認証)、MACBASED(MAC ベース認証)、WEB-BASED(Web 認証)、AUTO から選択
- モード ( Mode ): Single、Multi から選択
- ポートコントロール (Control): 手動設定による Authenticator ポートの状態をリストから選択
- 認証失敗後の通信拒否期間 (QuietPeriod): Supplicant の認証に失敗した後、Supplicant との通信を拒否する期間を指定
- Supplicant 再認証 (ReauthEnabled): Supplicant ポートの再認証を行うかどうかをリストから選択
- Supplicant 再認証間隔 (ReauthPeriod): Supplicant の再認証間隔を指定

- Supplicant タイムアウト時間 (SuppTimeout) : Supplicant に EAP-Request を送信した後、Supplicant からの応答を待つ時間を指定
- EAPOL-Request の最大送信回数 (MaxReq) : Supplicant に対する EAPOL-Request パケットの最大再送回数を指定
- Server タイムアウト時間 (ServerTimeout) : RADIUS サーバーに Access-Request を送信した後、RADIUS サーバーからの応答を待つ時間を指定
- EAPOL 再送間隔 (TxPeriod) : Supplicant に EAPOL パケットを再送信する間隔を指定
- 802.1X 認証モード (EapolVersion) : 認証モード。802.1X-2001 準拠モード/802.1X-2004 準拠モードを選択
- Piggy back モード (PiggyBack) : Piggy back モードの有効/無効を選択
- ダイナミック VLAN (VlanAssignment) : 有効/無効を選択
- ダイナミック VLAN タイプ (VlanAssignmentType) : ダイナミック VLAN をポート単位で設定するか、ユーザー (MAC アドレス) 単位で設定するかを選択
- ゲスト VLAN (GuestVlan) : 有効/無効を選択
- Secure VLAN : On/Off を選択

#### 認証ログ設定

802.1X 認証/MAC ベース認証/WEB ベース認証で有効にしたいログタイプの設定を行います。

**認証ログ設定**

**ポート 1**

**802.1X認証**  
 Success    Failure    Logoff

**MACベース認証**  
 Success    Failure    Logoff

**WEBベース認証**  
 Success    Failure    Logoff

802.1X 認証/MAC ベース認証/WEB ベース認証それぞれで有効にしたいログタイプ (Success : 認証成功、Failure : 認証失敗、Logoff : ログオフ) にチェックを付けます。

#### Supplicant MAC 透過設定

「ポート認証 - Supplicant MAC 透過設定」で、ポートの Supplicant MAC 透過アドレスの設定を行います。

- ※ Supplicant MAC 透過設定では、複数のポートを選択することはできません。

#### 登録 Supplicant MAC

すでに登録されている Supplicant MAC 透過アドレスを選択します。

「パラメーター読出し」ボタンをクリックすると、選択した Supplicant MAC 透過アドレスが「パラメーター設定」に表示されます。

「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、選択した MAC アドレスは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、MAC アドレスは削除されません。

「全削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、該当ポートに登録されたすべての Supplicant MAC 透過アドレスが削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、MAC アドレスは削除されません。

#### パラメーター設定

##### MAC アドレス (MAC)

登録する MAC アドレスを指定します。

##### ポートコントロール (Control)

手動設定による Authenticator ポートの状態をリストから選択します。



# 機器監視

## システム情報

システム情報を表示します。

CentreCOM GS908M V2-4PS

機器監視 - システム情報

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
スイッチ設定  
セキュリティ設定  
機器監視  
システム情報  
ログ  
統計カウンター  
FDB  
ポリシーベースQoS  
MSTP  
IGMP Snooping  
MLD Snooping  
DHCP Snooping  
LDF検出  
受信レート検出  
EPSR  
UDLD  
マネージメント

表示更新 自動更新  する  しない 更新間隔 1 [1-99] (分) 設定

**システム情報**

SysDescription	CentreCOM GS908M V2-4PS Ver 2.3.2 B04
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	1977300(05:29:33)
Release Version	2.3.2
Release built	B04 (Apr 21 2011 at 16:42:22)

**ハードウェア情報**

DRAM	65536 KB
Flash	16384 KB
MACアドレス	00-00-F4-27-2D-E5

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	PoE
Good	Good	Good	Good	Good

温度	FAN1	FAN2
Normal	Start	Start

**電圧**

1.2V	2.5V	3.3V(A)	3.3V(B)	12V	54V
Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal

**平均CPU使用率**

Last second	Last minute	Last 5 minutes	Last 15 minutes
56%	5%	4%	4%

詳細情報表示 詳細情報保存

## ポートの状態表示

ポートの状態は、メインエリアの製品前面の図の中に、下記の状態がグラフィカルに表示されます。



1000BASE-T ポートがリンクしていない状態



1000BASE-T ポートがリンクしている状態



1000BASE-T ポートがリンクしているが、無効の状態



SFP ポートに SFP が挿入されている状態



SFP ポートに SFP が挿入されていない状態



SFP がリンクしている状態



SFP がリンクしているが無効の状態

### ポートステータス表示

製品前面図の中のポートの部分をクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。  
表示される項目については、SHOW SWITCH PORT コマンド（「スイッチング」の 156 ページ）を参照してください。

## ポートステータス表示

## ポート 10

<b>ポート名称(Description)</b> -	<b>受信可能フレームタイプ(AcceptableFrameTypes)</b> Acceptable All Frames
<b>ポート状態(Status)</b> Enabled	<b>セキュリティーモード(SecurityMode)</b> Automatic
<b>リンク状態(LinkState)</b> Link Down	<b>ミラーリング対象パケットの向き(Mirroring)</b> None
<b>通信モード(ConfiguredSpeed/Duplex)</b> Autonegotiate	<b>ミラーポート(MirrorPort)</b> No
<b>通信速度(Speed)</b> -	<b>有効なフロー制御方式(EnabledFlowControl)</b> -
<b>リンクアップからの経過時間(UpTime)</b> -	<b>所属トランクグループ(Trunk)</b> -
<b>物理インターフェイス(PortMediaType)</b> Ethernet GSMA/CD	<b>所属タグVLAN名(TaggedVLANs)</b> -
<b>ポートの種類(PortType)</b> -	<b>所属ポートベースVLAN名(VlanID)</b> default(1)
<b>極性自動切替(AutoMDI)</b> Not applicable	<b>インgressフィルタリング(IngressFiltering)</b> Off
<b>極性(Polarity)</b> Not applicable	<b>ユーザープライオリティー(Priority)</b> 0
<b>ブロードキャストパケットのリミット</b> -	
<b>未学習ユニキャストパケットのリミット</b> -	<b>SFP vendor name</b> -
<b>マルチキャストパケットのリミット</b> -	<b>SFP part number</b> -
	<b>SFP vendor SN</b> -
	<b>SFP data code</b> -

OK

## システム情報の自動更新

システム情報は、1分ごとに自動的に更新されます。

自動更新を行いたくない場合は、「自動更新」の「しない」にチェックを付けます。

また、「表示更新」ボタンをクリックすると、手動で情報を更新することもできます。

自動更新の間隔は1~99分に変更できます。

- 自動更新の間隔、自動更新するかどうかの設定は、Cookieに保存されます。Cookieは、同じコンピューターからの同じホストに対する設定を保持し、次回のInternet Explorer起動時も、同じ状態になります。Internet Explorerの設定で、Cookieが無効になっていた場合は、次回のInternet Explorer起動時は、「自動更新する」、「自動更新の間隔は1分」の設定になります。

## システム情報/ハードウェア情報/平均 CPU 使用率

システムの情報が表示されます。

システム情報/ハードウェア情報で表示される項目については、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 203 ページ）を参照してください。

平均 CPU 使用率で表示される項目については、SHOW CPU コマンド（「運用・管理」の 165 ページ）を参照してください。

## 詳細情報

「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「システム 詳細表示」が表示されます。

「システム 詳細表示」には、SHOW DEBUG コマンド（「運用・管理」の 167 ページ）の実行結果が表示されます。

「詳細情報保存」ボタンをクリックすると、「システム 詳細表示」で表示される実行結果をテキスト形式で保存できます。

- 、 詳細情報を保存している最中に画面表示が更新された場合、ファイルの保存ができません。あらかじめシステム情報の自動更新を「しない」に設定するか、自動更新の間隔を長く設定した上で、保存中は「表示更新」ボタンをクリックしないようご注意ください。

## システム - 詳細表示

```

SHOW SYSTEM
Switch System Status                               Date 2011-04-26 Time 17:07:27
Board      Bay      Board Name
-----
Base      -        GS908M V2-4PS
-----
Memory -  DRAM : 65536 kB  FLASH : 16384 kB  MAC : 00-00-F4-27-2D-E5
-----
SysDescription : CentreCOM GS908M V2-4PS Ver 2.3.2 B04
SysContact    :
SysLocation   :
SysName       :
SysUpTime     : 1044400(02:54:04)
Release Version : 2.3.2
Release built  : B04 (Apr 21 2011 at 16:42:22)

Flash PROM    : Good
RAM           : Good
SW chip       : Good [Revision: B0]
UART          : Good
PLD           : Good [Revision: B5]
PoE           : Good (Software Version 4.1.1)

FAN1          : Start(3000rpm)  FAN2          : Start(3128rpm)
               Low Speed                      Low Speed
1.2V          : Normal(1.20V)    2.5V          : Normal(2.46V)
3.3V(A)       : Normal(3.27V)    3.3V(B)       : Normal(3.22V)
12.0V         : Normal(11.75V)   54.0V         : Normal(53.7V)
Temperature    : Normal(42.5 C)

FAN START/STOP ALARM : Enabled
  
```

OK

## ログ

ログやログカウンターを表示します。

CentreCOM GS900M V2-4PS

機器監視 - ログ

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- ポルトベースQoS
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信トレイ検出
- EPSR
- UDLD

管理

ログカウンター

ログ生成数:	16
Permanentへの出力数:	3016
Syslogへの出力数:	0

ログクリア

ログ表示条件

表示順: 古い順

表示件数: 3000 [1-3000](件)

ログ表示 ログ保存

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## ログカウンター

ログ機能の診断カウンターを表示します。表示される項目については、SHOW LOG COUNTER コマンド（「運用・管理」の180ページ）を参照してください。

「ログクリア」ボタンをクリックすると、ログカウンターがリセットされ、メモリー上のログが削除されます。

## ログ表示条件

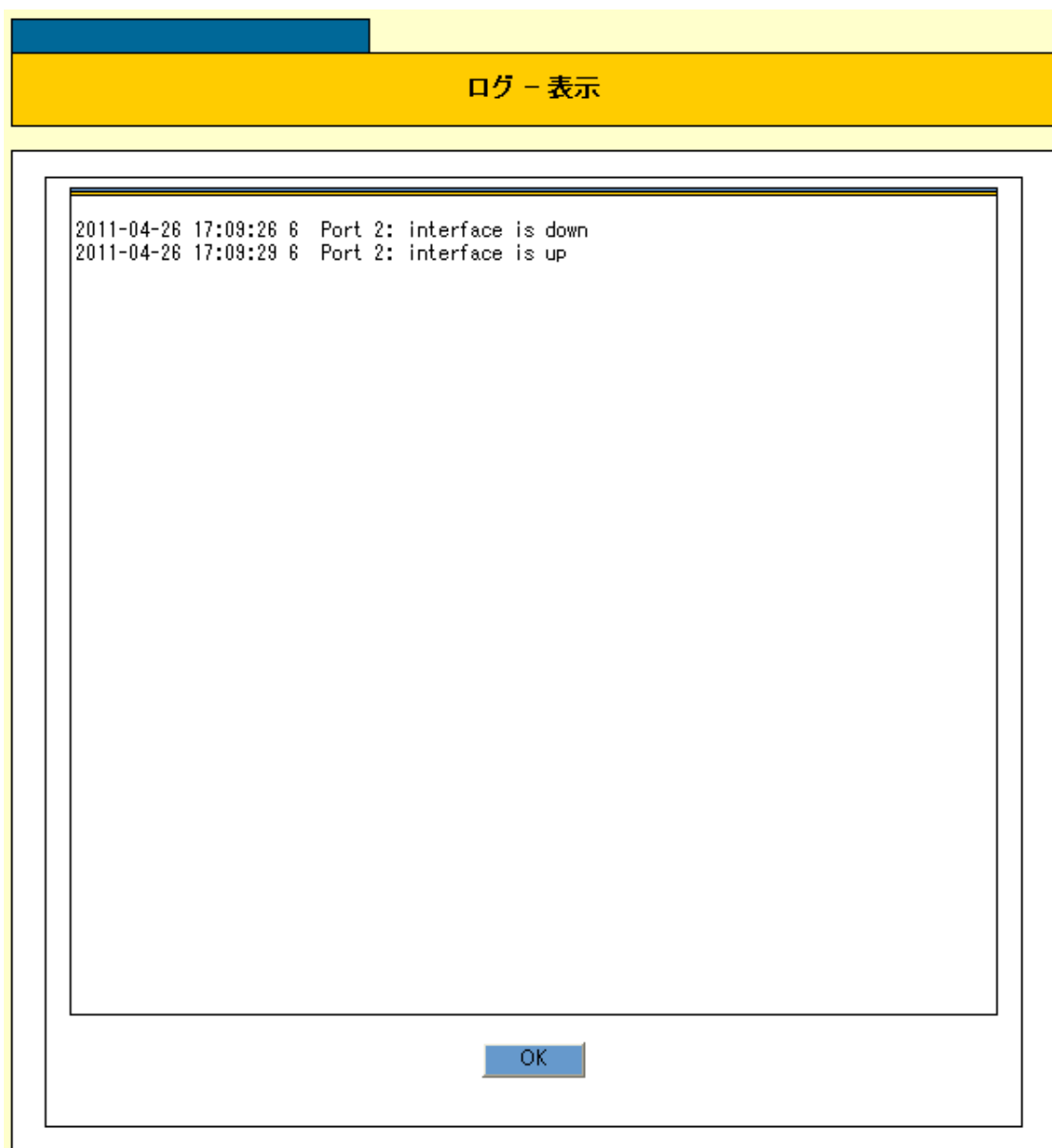
ログの表示順と表示件数を設定します。

「表示順」のリストから、ログの表示順を選択します。

「表示件数」で、表示するログの件数を指定します。

「ログ保存」ボタンをクリックすると、ログがテキスト形式で保存できます。

「ログ表示」ボタンをクリックすると、「ログ - 表示」が表示されます。



## 統計カウンター

統計情報を表示します。

## スイッチカウンター

スイッチングモジュールの統計カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW SWITCH COUNTER コマンド (「スイッチング」の 150 ページ) を参照してください。

CentreODM GS908M V2-4PS

機器監視 - 統計カウンター

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
 スイッチ設定  
 セキュリティー設定  
 機器監視  
   システム情報  
   ログ  
   統計カウンター  
   FDB  
   ポリシーベースQoS  
   MSTP  
   IGMP Snooping  
   MLD Snooping  
   DHCP Snooping  
   LDF検出  
   受信リスト検出  
   EPPSR  
   UDLD  
 マネージメント

スイッチカウンター

受信		送信	
packets:	11924	packets:	8562
errors:	0	errors:	0

カウンタークリア

ポート一覧

ポート	受信	受信(エラー)	送信	送信(エラー)
<input type="radio"/> 1	229590	0	325009	0
<input type="radio"/> 2	330499	0	238089	0
<input type="radio"/> 3	0	0	0	0
<input type="radio"/> 4	0	0	0	0
<input type="radio"/> 5	0	0	0	0
<input type="radio"/> 6	0	0	0	0
<input type="radio"/> 7	0	0	0	0
<input type="radio"/> 8	0	0	0	0
<input type="radio"/> 9	0	0	0	0
<input type="radio"/> 10	0	0	0	0

ポートカウンター表示 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## ポート一覧

スイッチポートの統計カウンターの簡易一覧が表示されます。

一覧から詳細を表示するポート番号にチェックを付け、「ポートカウンター表示」ボタンをクリックすると、「ポートカウンター表示」が表示されます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

## ポートカウンター表示

「ポートカウンター表示」には、統計カウンターの詳細が表示されます。表示される項目については、SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンド（「スイッチング」の162ページ）を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、表示しているポートのカウンターのみがクリアされます。



**ポートカウンター表示**

**ポート 1**

送受信数分布	受信	送信
64 : 148566	Octets : 46553183	Octets : 370006435
65-127 : 61586	UnicastPkts : 223189	UnicastPkts : 322893
128-255 : 72720	MulticastPkts : 1150	MulticastPkts : 20
256-511 : 5553	BroadcastPkts : 5496	BroadcastPkts : 2337
512-1023 : 20382	Discards : 1	Discards : 0
1024-1518 : 246278	Errors : 0	Errors : 0
1519-1522(T) : 0	PauseFrames : 0	PauseFrames : 0
1519-2047 : 0	AlignmentErrors : 0	
2048-4095 : 0	FCSErrors : 0	
4096-9216 : 0	LateCollisions : 0	
	ExcessiveCollisions : 0	
	CarrierSenseErrors : 0	
	FrameTooLongs : 0	
	SymbolErrors : 0	
	UndersizePkts : 0	
	Fragments : 0	
	Jabbers : 0	
	SingleCollisionFrames : 0	
	MultipleCollisionFrames : 0	
	DeferredTransmissions : 0	

OK
カウンタークリア

## FDB

フォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示します。また、スタティックエントリーの追加も行います。

フォワーディングデータベースの詳細については、「フォワーディングデータベース」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「フォワーディングデータベース」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明していますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS908M V2-4PS

**機器監視 - FDB**

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- ポリシーベースQoS
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD

マネージメント

**FDB表示条件**

エントリー種別  MAGアドレシ(MAG)  VLAN名(VID)

ポートグループ名

ポート

1	3	5	7	9
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

FDB表示 リセット

---

**スタティックエントリー登録**

ポート番号  VLAN名(VID)

MAGアドレス(MAG)

登録 リセット

**スタティックエントリー削除**

ポート番号  VLAN名(VID)

MAGアドレス(MAG)

(※MAGアドレス未設定時は、指定ポートの全エントリーが削除されます)

削除 リセット

---

**全ダイナミックエントリー削除** 削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## FDB 表示条件

条件を設定することにより、表示するエントリーを絞り込むことができます。

### エントリー種別

エントリーの種別をリストから選択します。

### MAC アドレス (MAC)

表示の対象となるアドレスを指定します。

### VLAN 名 (VID)

VLAN 名、または VLAN ID を指定します。指定した VLAN に所属するエントリーだけが表示されます。

### トランクグループ名

トランクグループ名を指定します。指定したグループに所属するエントリーだけが表示されます。

### ポート

該当 MAC アドレスを持つ機器が接続されているポートを指定します。

「FDB 表示」ボタンをクリックすると、「FDB - 表示」が表示されます。

## FDB 表示

「FDB - 表示」には、設定された条件にあった FDB が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

表示される内容については、SHOW SWITCH FDB コマンド（「フォワーディングデータベース」の 14 ページ）を参照してください。

**FDB - 表示**

Switch Forwarding Database (Software)

VLAN	MAC Address	Status	Port
1	00-00-74-d7-4a-35	Dynamic	1
1	00-00-cd-37-07-e4	Dynamic	1
1	00-00-f4-27-2d-e5	Static	CPU
1	00-03-93-82-cf-38	Dynamic	1
1	00-06-5b-88-80-41	Dynamic	1
1	00-07-e9-17-df-3a	Dynamic	1
1	00-09-41-38-02-80	Dynamic	1
1	00-0a-95-8f-34-16	Dynamic	1
1	00-0c-6e-80-fe-73	Dynamic	1
1	00-0d-a2-00-50-39	Dynamic	1
1	00-19-bb-c5-fc-94	Dynamic	1
1	00-20-4a-84-33-55	Dynamic	1
1	00-21-9b-20-0f-1a	Dynamic	1
1	00-21-9b-fc-45-08	Dynamic	1
1	00-22-19-d4-4c-7a	Dynamic	1
1	00-23-32-9b-0a-96	Dynamic	1
1	00-24-e8-08-ac-56	Dynamic	1
1	00-24-e8-08-ac-a5	Dynamic	1
1	00-24-e8-08-ad-ab	Dynamic	1
1	00-24-e8-08-ae-b0	Dynamic	1
1	00-80-87-eb-a7-4c	Dynamic	1
1	a4-ba-db-fd-31-e2	Dynamic	2

再表示
閉じる

## スタティックエントリー登録

FDB に、スタティックエントリー（スイッチフィルター）を登録します。

ポート番号

対象となるスイッチポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。出力ポートに VLAN タグが設定されている場合に指定します。

MAC アドレス

登録する MAC アドレスを指定します。

「登録」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが登録されます。

### スタティックエントリー削除

ポート番号

該当エントリーの出力ポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。

MAC アドレス

削除する MAC アドレスを指定します。

「削除」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが削除されます。

### 全ダイナミックエントリー削除

「削除」ボタンをクリックすると、ダイナミックに学習した MAC アドレスの登録がすべて削除されます。スタティックに登録した MAC アドレスは消去されません。

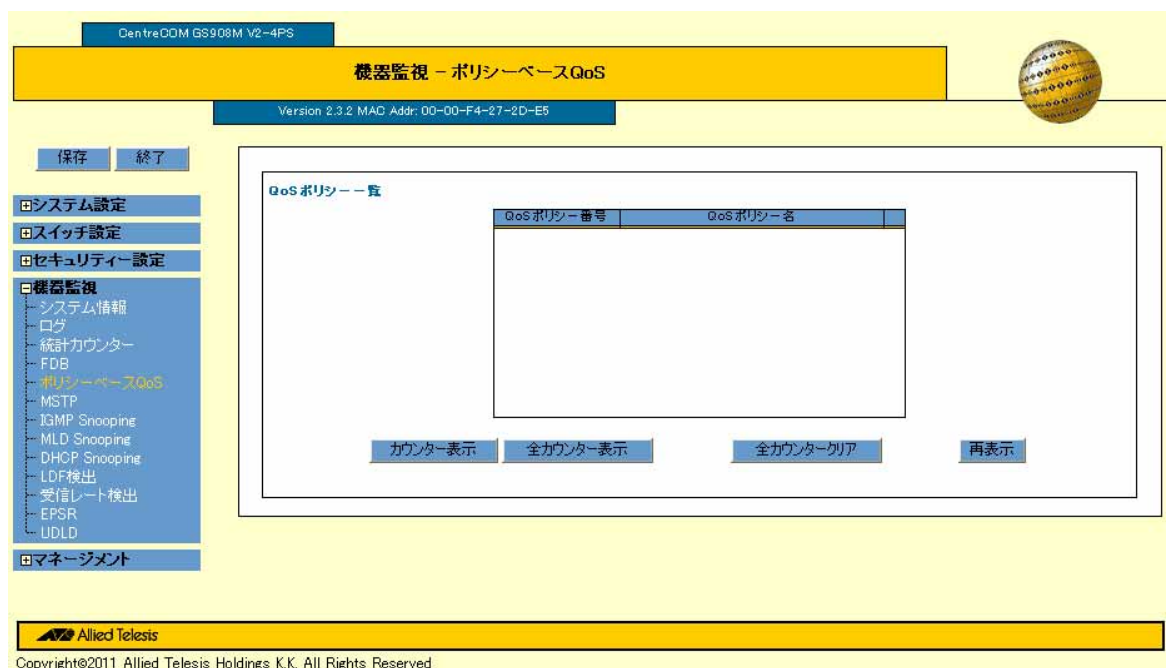
## ポリシーベース QoS

ポリシーベース QoS に割り当てられているクラシファイアごとのカウンターの表示やカウンタークリアが行えます。

QoS ポリシー一覧の中からカウンターを表示したい QoS ポリシー番号にチェックを付けて「カウンター表示」ボタンをクリックすると、「QoS ポリシー カウンター表示」が表示されます。

「全カウンター表示」ボタンをクリックすると、すべての QoS ポリシーのカウンターが「QoS ポリシー カウンター表示」で表示されます。

QoS ポリシー一覧に表示されている QoS ポリシーのカウンターを一度にクリアする場合は「全カウンタークリア」ボタンをクリックします。QoS ポリシーごとにカウンターをクリアにする場合は、「QoS ポリシー カウンター表示」で「カウンタークリア」ボタンをクリックします。



### QoS ポリシー カウンター表示

カウンターの表示とカウンターのクリアが行えます。

表示される項目については、SHOW QOS POLICY COUNTER コマンド（「QoS」の70ページ）を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、表示している QoS ポリシーのフローグループに割り当てられているクラシファイアごとのカウンターをリセットします。

## QoSポリシー カウンター表示

Policy/TrafficClass/FlowGroup Classifier				Hit Counter
1	Policy01			
1	TrafficClass01			
1	FlowGroup01	1	Classifier01	-

OK

カウンタークリア

## MSTP

MSTP 統計カウンターの簡易一覧を表示します。

CentreODM GS909M V2-4PS

機器監視 - MSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティー設定
- 機器監視
  - システム情報
  - ログ
  - 統計カウンター
  - FDB
  - ポリシーベースQoS
  - MSTP
  - IGMP Snooping
  - MLD Snooping
  - DHCP Snooping
  - LDF検出
  - 受信レポート検出
  - EPSR
  - UDLD
- マネージメント

ポート一覧

ポート	受信	受信破棄	送信
<input type="radio"/> 1	0	0	0
<input type="radio"/> 2	0	0	0
<input type="radio"/> 3	0	0	0
<input type="radio"/> 4	0	0	0
<input type="radio"/> 5	0	0	0
<input type="radio"/> 6	0	0	0
<input type="radio"/> 7	0	0	0
<input type="radio"/> 8	0	0	0
<input type="radio"/> 9	0	0	0
<input type="radio"/> 10	0	0	0

ポートカウンター表示 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis  
Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### 受信

受信した各種 BPDU ( STP/RSTP/MSTP BPDU ) の総数を表示します。

### 受信破棄

show mstp counter コマンドで表示される Discarded セクションの合計を表示します。

### 送信

送信した各種 BPDU ( STP/RSTP/MSTP BPDU ) の総数を表示します。

ポート番号にチェックを入れ、「ポートカウンター表示」ボタンをクリックすると指定ポートの MSTP 統計カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW MSTP COUNTER PORT コマンド ( 「スパンニングツリープロトコル」 の 48 ページ ) を参照してください。

**MSTP ポートカウンター表示**

**ポート 1**

受信	送信
Total BPDUs :0	Total BPDUs :0
MSTP BPDUs :0	MSTP BPDUs :0
RSTP BPDUs :0	RSTP BPDUs :0
STP BPDUs :0	STP BPDUs :0
Invalid BPDUs :0	

**破棄**

Port Disabled :0
Invalid Protocol :0
Invalid Type :0
Invalid BPDU length :0

## IGMP Snooping

IGMP Snooping の設定を表示します。

表示される項目については、SHOW IGMP Snooping コマンド（「IGMP Snooping」の 14 ページ）を参照してください。



CentreCOM GS900M V2-4PS

機器監視 - IGMP Snooping

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
スイッチ設定  
セキュリティ設定  
機器監視  
システム情報  
ログ  
統計カウンター  
FDB  
ポリシーベースQoS  
MSTP  
IGMP Snooping  
MLD Snooping  
DHCP Snooping  
LDF検出  
受信シート検出  
EPSR  
UDLD  
マネージメント

ステータス

```
IGMP Snooping Status ..... Disabled
Host/Router Timeout Interval ..... 260 seconds
Maximum IGMP Multicast Groups ..... 64 (0)
Router Port(s) ..... 1
```

再表示

Allied Telesis  
Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## MLD Snooping

MLD Snooping の設定を表示します。

表示される項目については、SHOW MLDSNOOPING コマンド（「MLD Snooping」の 14 ページ）を参照してください。

CentreCOM GS900M V2-4PS

機器監視 - MLD Snooping

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
 スイッチ設定  
 セキュリティ設定  
 機器監視

- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- ポリシーベースQoS
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信シート検出
- EPSR
- UDLD

マネージメント

ステータス

```

MLD Snooping Status ..... Disable
Host/Router Timeout Interval ..... 260 seconds
Maximum MLD Multicast Groups ..... 64 (0)
Router Port(s) ..... Auto Detect
  
```

再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## DHCP Snooping

DHCP Snooping の各種情報を表示します。

CentreCOM GS908M V2-4PS

**機器監視 - DHCP Snooping**

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
  - システム情報
  - ログ
  - 統計カウンター
  - FDB
  - ポリシーベースQoS
  - MSTP
  - IGMP Snooping
  - MLD Snooping
  - DHCP Snooping**
  - LDF検出
  - 受信レポート検出
  - EPSR
  - UDLD
- マネージメント

**バインディングデータベース ダイナミックエントリー削除**

1	3	5	7	9
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**バインディングデータベース表示**

```

DHCP Snooping Binding Database
-----
Full Leases/Max Leases ... 0/10
Check Interval ..... 60 seconds
Check Options ..... None

Current valid entries
MAC Address      IP Address      Expires(s)  VLAN Port    ID    Source
-----
None...


Entries with client lease but no listeners
MAC Address      IP Address      Expires(s)  VLAN Port    ID    Source
-----
None...
                    
```

**統計情報**

```

DHCP Snooping Counters
-----
DHCP Snooping
InPackets ..... 0
InBootpRequests ..... 0
InBootpReplies ..... 0
InDiscards ..... 0

ARP Security
InPackets ..... 0
InDiscards ..... 0
NoLease ..... 0
Invalid ..... 0
                    
```



Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### バインディングデータベース ダイナミックエントリー削除

指定したポートのダイナミックエントリーをバインディングデータベースから削除します。(複数ポート指定可)

### バインディングデータベース表示

バイディングデータベースの内容を表示します。

表示される項目については、SHOW DHCP Snooping DATABASE コマンド（「スイッチング」の 136 ページ）を参照してください。

## 統計情報

DHCP Snooping の統計情報を表示します。

表示される項目については、SHOW DHCP Snooping COUNTER コマンド（「スイッチング」の 134 ページ）を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、統計情報をリセットできます。

## LDF 検出

LDF 検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM GS900M V2-4PS

機器監視 - LDF検出

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- ポリシーベースQoS
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD

マネージメント

ポート一覧

ポート	LDF送信	LDF受信	アクション実行	受信破棄
<input type="checkbox"/> 1	32	0	0	0
<input type="checkbox"/> 2	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10	0	0	0	0

カウンタークリア 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

表示される項目については、SHOW SWITCH LOOPDETECTION コマンド（「スイッチング」の 151 ページ）を参照してください。

## 受信レート検出

受信レート検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreODM GS900M V2-4PS

機器監視 - 受信レート検出

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- ポリシーベースQoS
- MSTP
- IGMP Snooping
- MLD Snooping
- DHCP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSR
- UDLD

マネージメント

ポート一覧

ポート	高レート検出	アクション実行	低レート検出	アクション実行	受信レート(Kbps)
<input type="checkbox"/> 1	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 2	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10	0	0	0	0	0

カウンタークリア 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

表示される項目については、SHOW SWITCH STORMDETECTION コマンド（「スイッチング」の 166 ページ）を参照してください。

## EPSR

EPSR ドメインの一覧を表示します。

表示される項目については、SHOW EPSR コマンド（「スイッチング」の 143 ページ）を参照してください。

CentreCOM GS908M V2-4PS

機器監視 - EPSR

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
 スイッチ設定  
 セキュリティー設定  
 機器監視  
   システム情報  
   ログ  
   統計カウンター  
   FDB  
   ポリシーベースQoS  
   MSTP  
   IGMP Snooping  
   MLD Snooping  
   DHCP Snooping  
   LDF検出  
   受信レポート検出  
   EPSR  
   UDLD  
 マネージメント

EPSRF メイン一覧

ドメイン名	モード	状態	第1ポート	リンク	向き	第2ポート	リンク	向き

カウンター表示 再表示

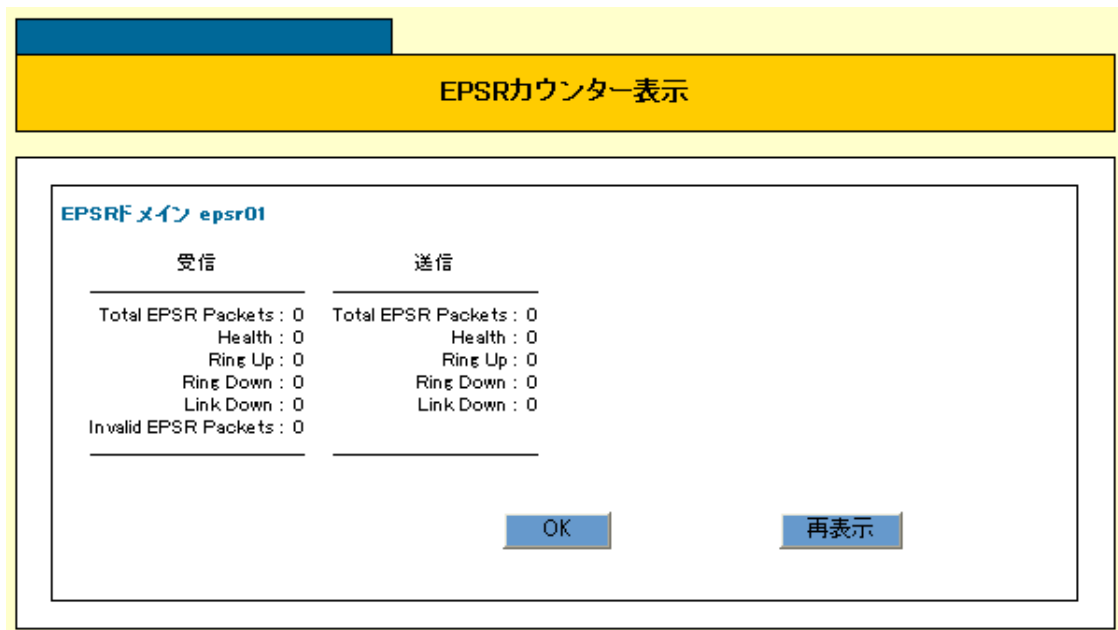
Allied Telesis  
Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターを表示する EPSR ドメインにチェックを付け、「カウンター表示」ボタンをクリックすると、選択した EPSR ドメインのカウンターが表示されます。

## EPSR カウンター表示

EPSR ドメインの統計統計カウンターが表示されます。

表示される項目については、SHOW EPSR COUNTER コマンド（「スイッチング」の 146 ページ）を参照してください。



## UDLD

UDLD の内容を表示します。また、ポートの閉塞解除も行います

### UDLD 対向機器表示

UDLD の対向機器の一覧を表示します。

表示される項目については、SHOW UDLD NEIGHBORS コマンド（「スイッチング」の 175 ページ）を参照してください。

CentreCOM GS900M V2-4PS

機器監視 - UDLD

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
 スイッチ設定  
 セキュリティ設定  
 機器監視  
   システム情報  
   ログ  
   統計カウンタ  
   FDB  
   ポリシーベースQoS  
   MSTP  
   IGMP Snooping  
   MLD Snooping  
   DHCP Snooping  
   LDF検出  
   受信シード検出  
   EPSR  
   UDLD  
 マネージメント

UDLD対向機器表示

UDLD Neighbor Information:

Port	Device-ID	Port-ID	OperState
None...			

再表示

ポート一覧

ポート	UDLD有効	稼働状況	ポート状態
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	Unknown	-

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

## ポート一覧

ポート一覧から UDLD 詳細情報を表示したいポートにチェックを付け、「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「UDLD-ポート詳細情報表示」が表示されます。

「全ポート詳細情報表示」ボタンをクリックすると、すべてのポートの UDLD 詳細情報が「UDLD-ポート詳細情報表示」で表示されます。

「全ポート閉塞解除ボタン」ボタンをクリックすると、すべてのポートの Unidirectional 検出によるポート閉塞状態が解除されます。

## UDLD-ポート詳細情報表示

UDLD のポート詳細情報が表示されます。

表示される項目については、SHOW UDLD コマンド(「スイッチング」の 172 ページ)を参照してください。



**UDLD - ポート詳細情報表示**

UDLD Information:

-----

Port ..... 1  
Status ..... Disabled  
Bidirectional state ..... Unknown

-----

## マネージメント

### ポートリセット

スイッチポートをリセットします。リセットを実行すると、オートネゴシエーションプロセスを開始し、ポートの統計カウンターをクリアします。

CentreCOM GS900M V2-4PS

マネージメント - ポートリセット

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-2D-E5

保存 終了

システム設定  
 スイッチ設定  
 セキュリティ設定  
 機器監視  
 マネージメント
 

- ポートリセット
- コンフィグファイル
- ファイル管理
- 再起動

リセット ポート選択 (\*FDBダイナミックエントリー、統計カウンター等もクリアされます)

ポート(Ports)

1	3	5	7	9
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

### リセットポート選択

リセットするポート番号にチェックを付けます。

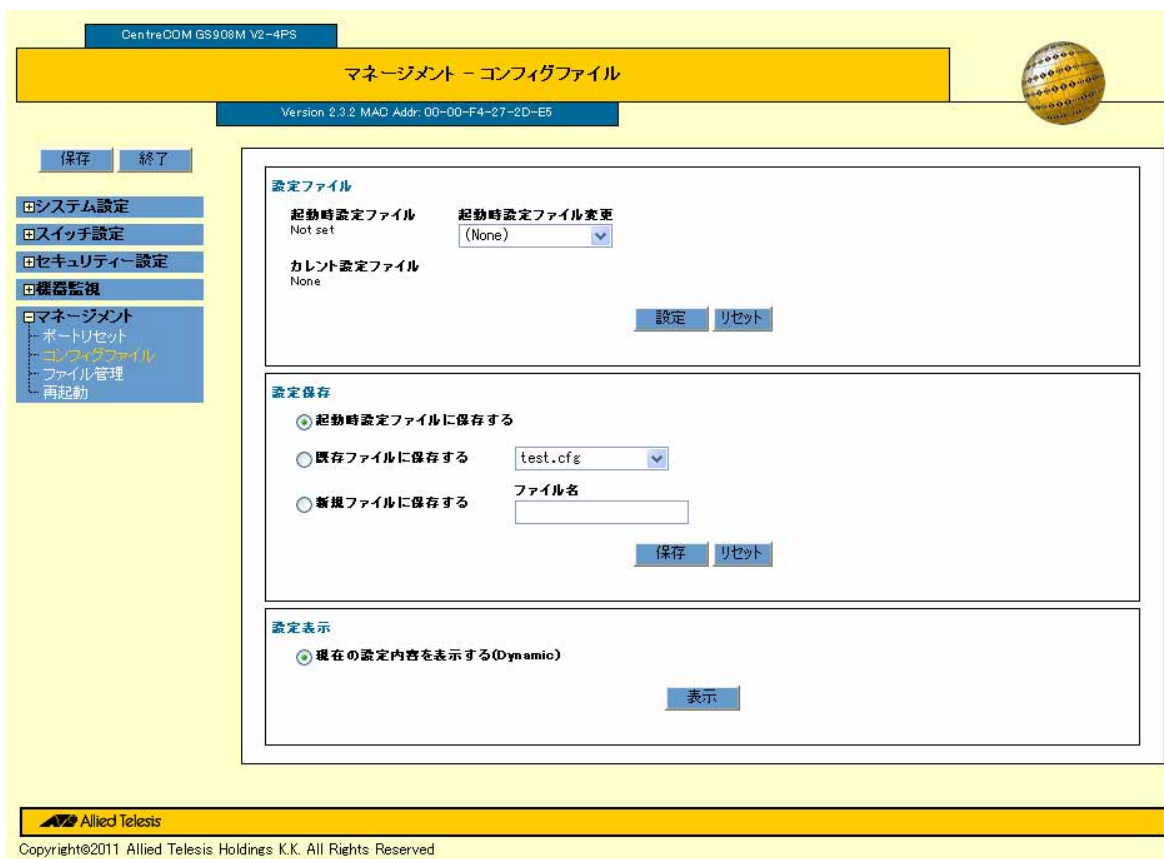
「設定」ボタンをクリックすると、選択したポートがリセットされます。

### コンフィグファイル

現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を保存するスクリプトファイルに関する設定を行います。

コンフィグレーションの詳細については、「運用・管理」/「コンフィグレーション」をご覧ください。

「運用・管理」/「コンフィグレーション」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



### 設定ファイル

起動時に読み込まれるデフォルトの設定ファイル（起動時設定ファイル）を指定します。  
 「起動時設定ファイル」には、次回起動時に実行される設定ファイル名が表示されます。  
 起動時設定ファイルを変更したい場合は、「起動時設定ファイル変更」のリストから、変更したい設定ファイルを選択し、「設定」ボタンをクリックします。  
 「カレント設定ファイル」には、今回の起動時に実行された設定ファイル名が表示されます。

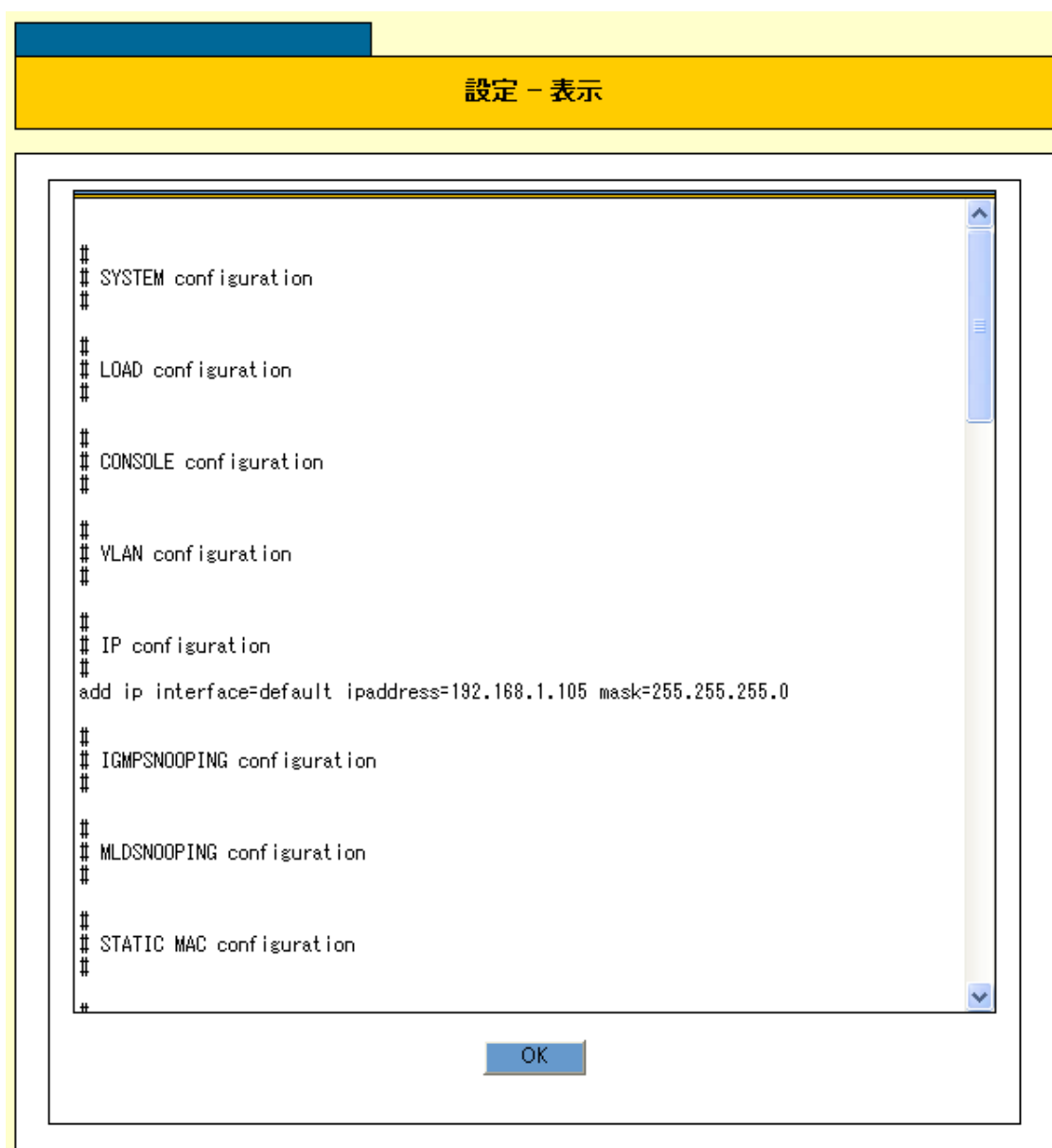
### 設定保存

現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します。  
 次の3つの保存方法の中から1つを選択し、「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

- 「起動時設定ファイルに保存する」: 「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定を保存
- 「既存ファイルに保存する」: 選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」: ファイルを新規に作成し、設定を保存

## 設定表示

「表示」ボタンをクリックすると、現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を設定ファイルと同じ形式で表示されます。



## ファイル管理

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。

また、設定ファイルのアップロード・ダウンロード、および、ファームウェアのダウンロードが可能です。

ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。

また、「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。

「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップブロック」の設定において、本 IP アドレスを許可する設定としてください。

- 本書では、本製品からサーバーなどへのファイルの転送をアップロード、サーバーなどから本製品へのファイル転送をダウンロードと表現します。

ファイル管理の詳細については、「運用・管理」/「ファイルシステム」をご覧ください。

「運用・管理」/「ファイルシステム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、次の項目以外は、Web GUI でも同じことができます。

- フラッシュメモリーの初期化
- ファイルのコピー

Web GUI からのファイル管理には、次の制限があります。

- ファイル名を変更できない

∟ ファイル名の変更、内容を編集するには、一度設定ファイルをアップロードし、ファイル名の変更、内容の変更を行ってから、ファイルをダウンロードしてください。

## ファイル一覧

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。

ファイルを選択し、ファイルのアップロード、ファイルの削除が行えます。

## 設定ファイルの転送

設定ファイルを本製品にダウンロードできます。

## ファームウェア情報の変更

### インストール種類

Preferred 固定。

### 起動時ファームウェア

次回、起動時に動作させるファームウェアを指定します。

### 稼働中ファームウェア

稼働中のファームウェアを表示します。

## ファームウェアの転送

本製品にファームウェアをダウンロードし、ファームウェアの更新を行います。

転送したファームウェアを、起動時ファームウェアに設定する

転送したファームウェアを、次回、起動時に動作させる場合は、チェックを入れます。

ファームウェア更新後、自動的に再起動する

ファームウェア更新後、自動的に再起動する場合はチェックを入れます。

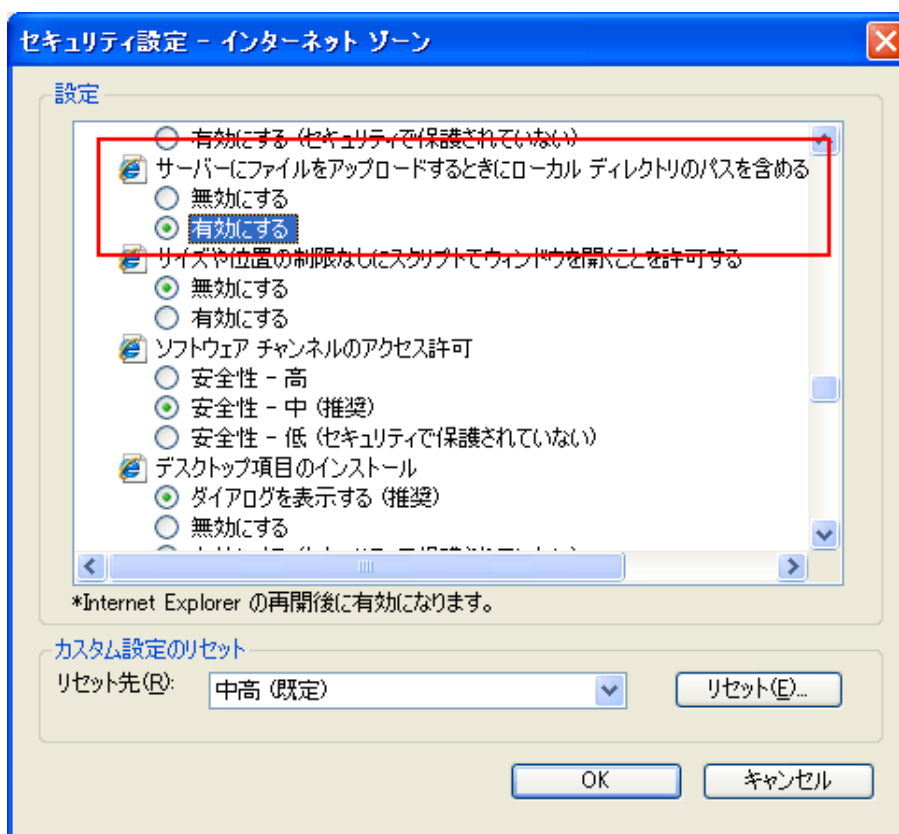
## Internet Explorer 7 以上を使用する場合の注意

Internet Explorer 7 以上を使用し、コンフィグファイルやファームウェアを転送する場合、事前に以下の設定を実行してください。

### 設定

1. 「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「セキュリティ」タブを開きます。
2. 「インターネット」ゾーンの「レベルのカスタマイズ」で「サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める」を「有効にする」に設定します。

∟ 本設定は、Internet Explorer 7 ではデフォルト有効に、Internet Explorer 8 ではデフォルト無効になっています。



### Internet Explorer 8 を使用する場合の注意

Internet Explorer 8 で SmartScreen フィルター機能を有効にしていると、設定ファイルの取得に時間がかかる場合があります。この現象を回避するには、以下の方法を実行してください。

#### 設定

1. 「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「セキュリティ」タブを開きます。
2. 「ローカルイントラネット」を選択して「サイト」ボタンをクリックし、「ローカルイントラネット」画面にて「詳細設定」ボタンをクリックします。
3. ファイルダウンロード元のサイトを入力し、「追加」ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

＼ ファイルのダウンロード完了後、設定を元に戻すことを推奨します。

### 再起動

システムの再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

「OK」ボタンをクリックすると、システムが再起動されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。

本製品の設定を変更した後、設定を保存しない（メニューエリアの「保存」ボタンが赤い状態）で再起動を選択すると、再起動確認のダイアログボックスに、設定が保存されていないというメッセージが表示されま

す。設定を保存したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、設定を保存してから、再度、再起動を行ってください。「OK」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

